Pioneer

Super Audio CD Receiver

PDX-Z10











インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびはパイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(61 ページ) は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は、「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

もくじ

7 外部機器を接続する 39

8 音質の設定 44

9 タイマー機能を使う 46

10 各種設定 50

11 その他 52

第 1 章

はじめに

再生できるディスクの種類

本文中では以下の記号で表記しています。

- SACD 市販のSACD(スーパーオーディオCD)
- CD (R/RW) 市販の音楽用CD、またはCD-DAフォーマットで音声が記録されたCD-R/RW
- WMA/MP3 WMAまたはMP3ファイルが記録されたCD-R/RW/ROM

ディスクレーベル、パッケージまたはジャケットには、下記のマークが付いています。

SACD



CD



CD-R



CD-RW



コピーコントロールCDについて
当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDiscの再生について
「DualDisc」は片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
DVD面ではないオーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないため、再生できないことがあります。
なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細については、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

本機で再生できないディスクの種類
DVD、Blu-ray、HD-DVD、CD-G、ビデオCD、マルチチャンネルで記録されたSACD

本機は世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングを実施しています。（協力：エアースタジオ）

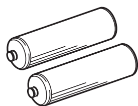


付属品の確認

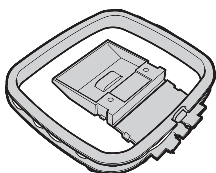
- リモコン ×1



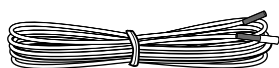
- 単3形乾電池（AA/R6）（動作確認用）×2



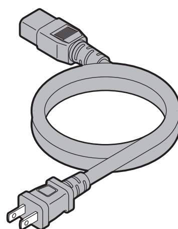
- AMループアンテナ ×1



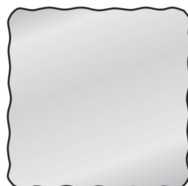
- FM簡易アンテナ ×1



- 電源コード ×1

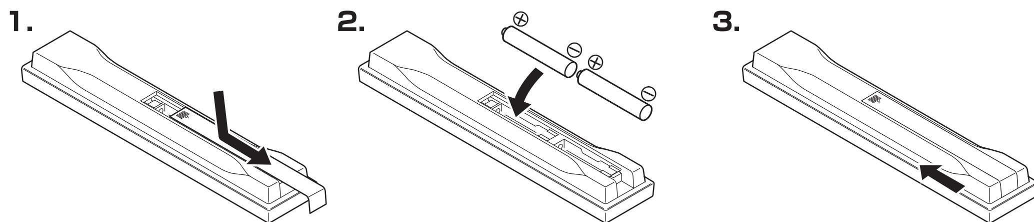


- クリーニングクロス×1



- 保証書
- 取扱説明書（本書）

リモコンに電池を入れる



1. 矢印の方向に、裏ブタを開く

2. ケース内に表記されている極性に合わせて、乾電池を入れる

3. 裏ブタを閉める

⚠ 警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用･放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

⚠ 注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂したりする危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

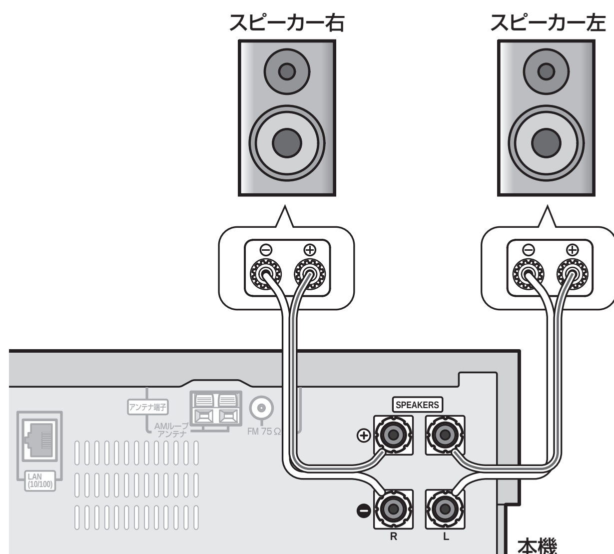
- 乾電池のプラス⊕ とマイナス⊖向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1か月以上）使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

第 2 章

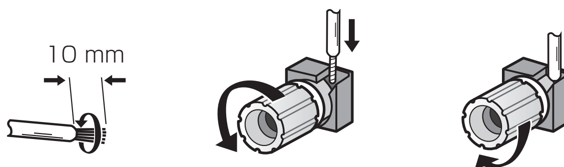
接続する



- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。



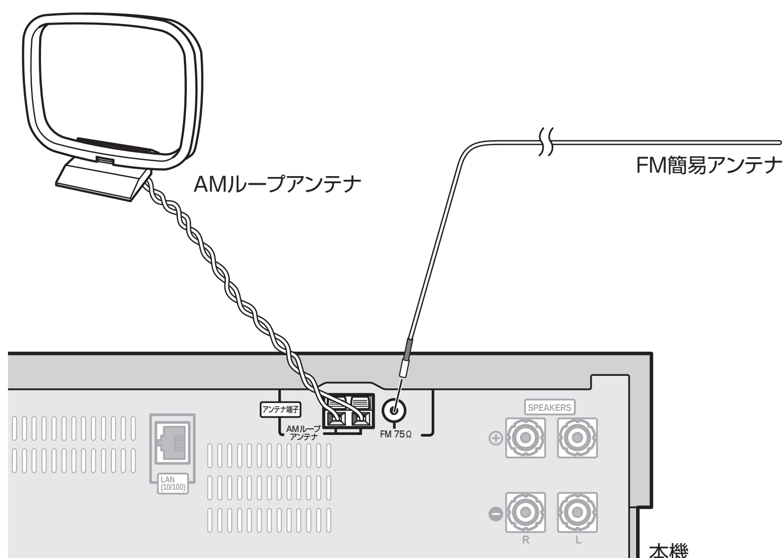
1. スピーカーコードを接続する



スピーカーコードの被覆をむいて、芯線を 10 mm 程度出します。
芯線をねじってから、本機の端子に表示されている極性 (⊕ 、⊖) を確認して接続してください。

☑ メモ

- 公称インピーダンスが4 Ω ～ 8 Ω のスピーカーをご使用ください。
- 端子に接続したあと、コードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確認してください。接続が不完全ですと、音がとぎれたり、雑音の出る原因となります。
- コードの芯線がはみ出して芯線どうしが触れたりすると、アンプ回路に過大な負荷が加わって音が出なくなったり、電源がオフになることがあります。
- スピーカーシステムの極性(⊕ 、⊖)を間違って接続すると、正常なステレオ効果を得ることができません。
- スピーカーを接続する際は、スピーカーに付属の取扱説明書もご覧ください。



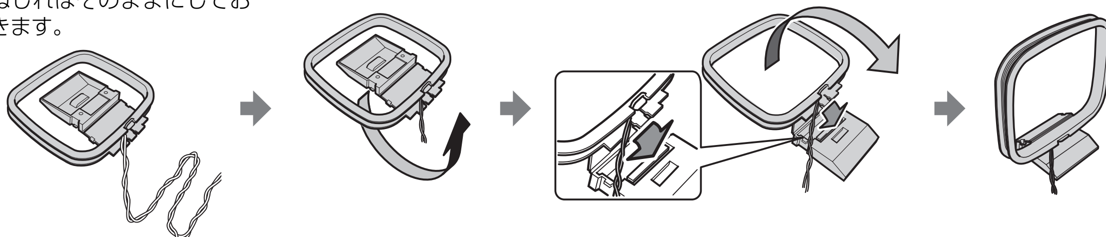
2. AM ループアンテナを組み立てる

①**コードがねじれて巻かれている部分まで**ほどきます。ねじれはそのままにしておきます。

② 台を外側に出します。

③ 突起部を溝にはめます。

④ 完成

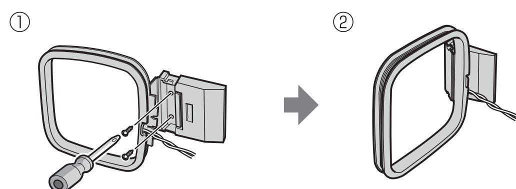


壁に取り付けるには...

市販のネジや画びょうなどを使って壁に取り付けてから組み立てます。

①

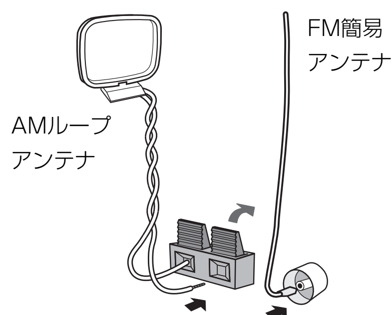
②



3. AM ループアンテナと FM 簡易アンテナを接続する

① AM ループアンテナ接続端子のツメを押しながら、AM ループアンテナのケーブルを端子に差し込みます。
ケーブルを差し込んだら、ツメから指を離します。

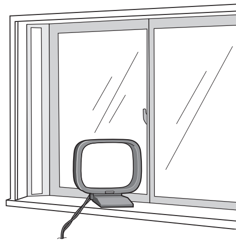
② FM 簡易アンテナは、中央のピンに差し込んでください。



アンテナの設置について

AMループアンテナ：

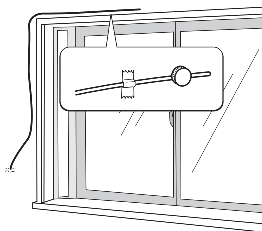
- 平らな面に置き、受信状態の最も良い方向に向けてください。
- アンテナは、本機や各接続ケーブルから離して金属物と接触しない場所に置いてください。また、パソコンやテレビなどからもできるだけ離してください。ノイズの原因となります。
- 壁などに取り付ける場合は、AM放送の受信状態が最も良い方向を見つけ、取り付け位置を決めてください。



- できるだけ窓の近くに置くなど、場所や向きを変えて受信しやすい状態を探してください。

FM簡易アンテナ：

- 付属のFM簡易アンテナは、たらしておいたり、丸めたままにしないで、最も良い受信状態が得られるようにピンと張ってください。
- 受信状態の良い方向が決まったら、画びょうやテープで貼り付けます。



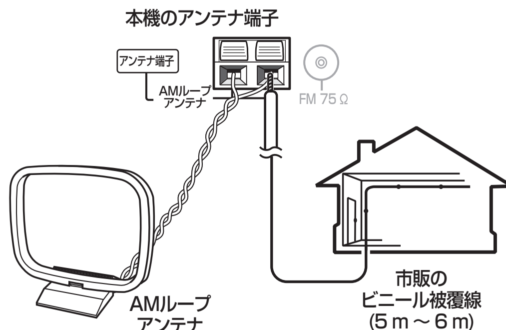
- 付属のFM簡易アンテナは、FM放送を手軽に受信するためのものです。より良い受信のためには、市販の屋外アンテナの使用をお勧めします。

付属アンテナでよく聞こえないときは

付属のAMループアンテナやFM簡易アンテナでは放送がよく聞こえないときは、市販の外部アンテナを接続してください。

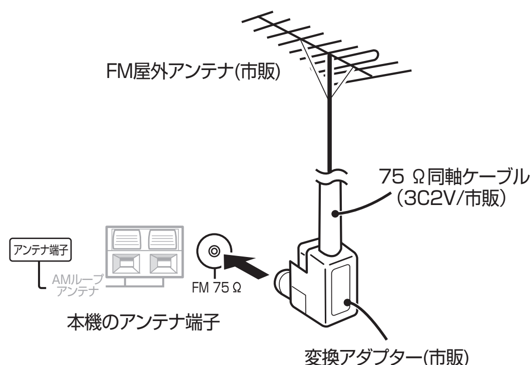
AM外部アンテナをつなぐ：

付属のAMループアンテナを接続したまま、AM外部アンテナ（市販のビニール被覆線）を下図のように接続してください。



FM屋外アンテナをつなぐ：

市販のFM屋外アンテナを接続するには、市販の同軸ケーブルと変換アダプターを使って、下図のように接続してください。



☑ **メモ**

- 付属のアンテナ、または上記の外部アンテナ以外の接続は行わないでください。
- FM放送がよく聞こえないときは、「FM放送の雑音を減らす」(20ページ)を参照して操作してください。



4. 外部機器を接続する

外部機器を接続するケーブルは、本機には付属していません。外部機器の接続について、詳しくは「外部機器を接続する」(39 ページ) をご覧ください。

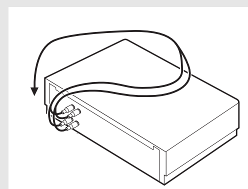
外部機器の音声を聞くには、リモコンの **INPUT** ボタンを繰り返し押して、**BT AUDIO**（BLUETOOTH アダプター接続時のみ選択可能）、**LINE 1**、**LINE 2**、**PHONO** または **FRONT AUDIO IN** を選択します。

iPod や USB メモリー、ネットワークオーディオ、インターネットラジオは、ホームメディアギャラリーで聞きます。詳しくは「ホームメディアギャラリーを聞く」(22 ページ) をご覧ください。

- **F.AUDIO IN** 端子にケーブルを接続すると、自動的に本機の入力（ファンクション）が切り換わります。（目覚ましタイマーで電源オンしている場合は除きます。）

☑ **注意**

- レコードプレーヤーはMM型カートリッジタイプをご使用ください。
- PHONO 端子にレコードプレーヤー以外の機器またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
- イコライザー内蔵レコードプレーヤーを本機に接続する場合は、LINE IN 1または2端子に接続してください。
- 右図のように、本機の上に接続コードを曲げて放置すると、スピーカーからノイズが出る場合があります。接続コードなどはこのような状態にしないでください。

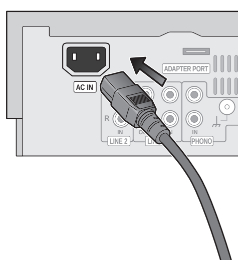


☑ **メモ**

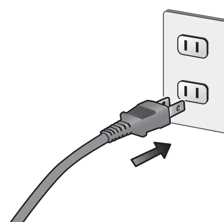
- カセットデッキを設置する場所によっては、再生したときに雑音などが発生する場合があります。これは本機からのリーケージフラックス（漏れ磁束）などの影響によるものです。このようなときには、設置する場所を変えるか、本機から離して設置してください。

5. 電源コードをつなぐ

すべての接続が終了したら、電源コードを本体の AC インレット (AC IN) と壁のコンセント (AC 100 V) に接続します。



壁のコンセント



☑ **注意**

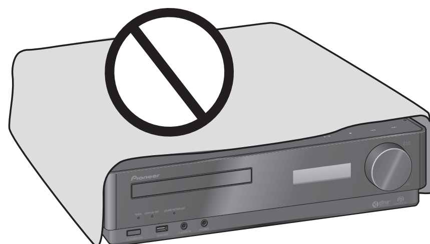
- 本機の電源コードは着脱式ですが、付属しているコード以外の電源コードは使用しないでください。

☑ **メモ**

- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。電源コードを抜くときは必ず本機の電源をスタンバイにしてから抜いてください。

⚠ **注 意**

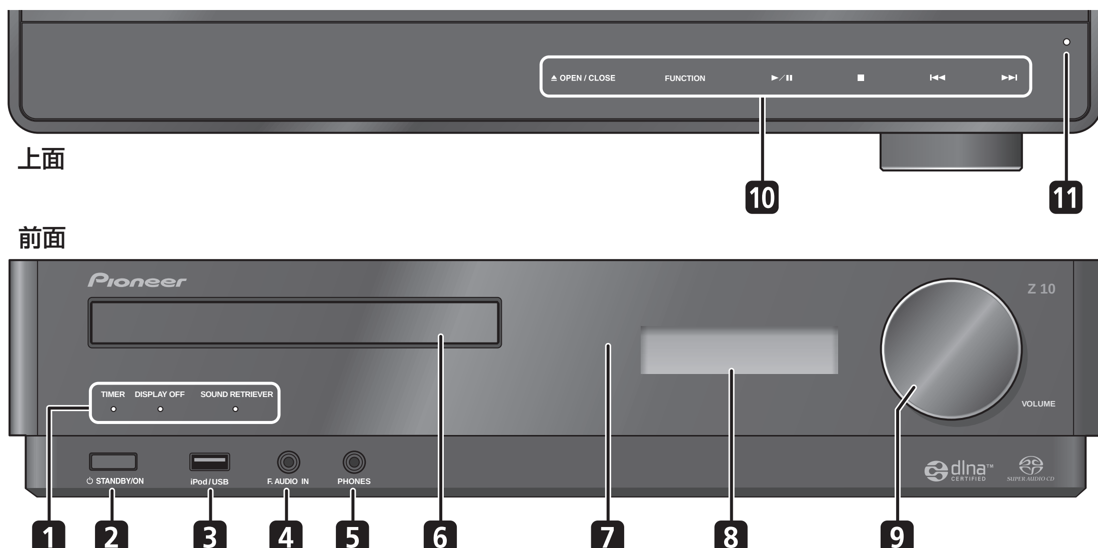
本機を設置する場合には、壁から10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から5 cm以上、背面から10 cm以上、側面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



第 3 章

各部の名称

本体前面／上面



前面

1 TIMERインジケーター
タイマー機能の動作の状態を示します。（48、49 ページ）

DISPLAY OFFインジケーター
前面表示窓の表示をオフにしているときに点灯します。(50 ページ)

SOUND RETRIEVERインジケーター
サウンドレトリバー機能が有効なときに点灯します。(44 ページ)

2 ⏻ STANDBY/ONボタン
電源をオン / スタンバイにします。

3 iPod/USB端子
iPod や、音楽ファイルの入った USB メモリーを接続します。(24 ページ)

4 F.AUDIO IN端子
ステレオミニプラグ付きケーブルを使用して、外部機器を接続します。(43 ページ)

5 PHONES端子
市販のヘッドホンを接続します。インピーダンス 16 Ω ～ 50 Ω（推奨 32 Ω)、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンをお使いください。
ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出ません。

6 ディスクトレイ

7 リモコン受光部

8 前面表示窓
本機のさまざまな動作の状態を表示します。
本機を操作しないときは、約 3 分ごとに表示が反転します。(50 ページ)

9 VOLUMEつまみ
音量を調節します。

注 意

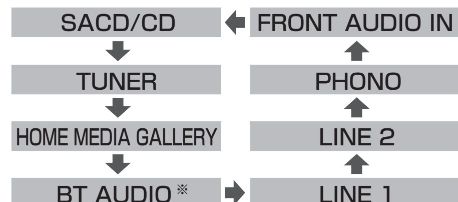
製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置してください。電源プラグを長時間差したままにすると、火災の原因となることがあります。

上面

10 タッチセンサー
文字やマークの中央部分を軽く触れて操作します。

▲ OPEN/CLOSE
ディスクトレイを開閉します。

FUNCTION(入力切り換え)
押すたびに以下のように切り換わります。



※ BLUETOOTH アダプターを本機に接続していない場合は、BT AUDIO は選択できません。


再生 / 一時停止します。

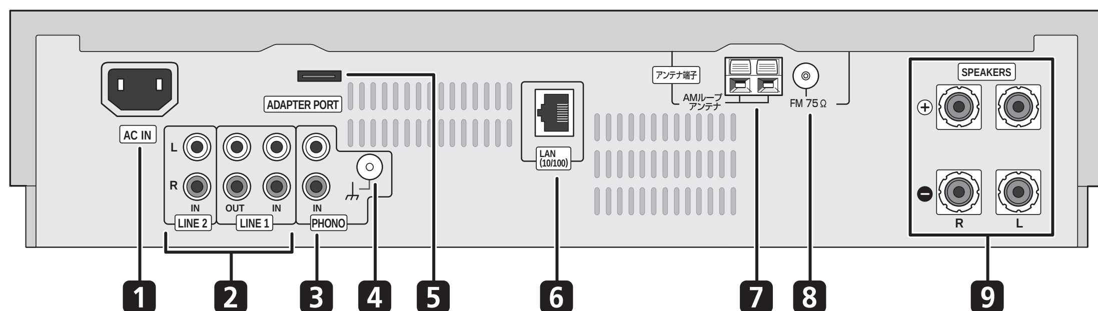
■
再生を停止します。


再生中の曲の始めに戻ります。


次の曲に進みます。

11 アクションインジケーター
タッチセンサーを操作したときに点灯します。

本体背面



1 AC IN端子
付属の電源コードを接続します。

2 LINE IN/OUT端子
外部機器を接続します。LINE IN 1 または 2 端子に接続した機器の音声を聞くには、リモコンの INPUT ボタンを押して LINE 1 または LINE 2 を選択します。

3 PHONO IN端子
レコードプレーヤーを接続します。レコードプレーヤーの音を聞くには、リモコンの INPUT ボタンを押して PHONO を選択します。

4 PHONO用GND端子
レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるものです。安全アースではありません。

5 ADAPTER PORT端子
別売りの BLUETOOTH アダプター AS-BT100 を接続します。(40 ページ)

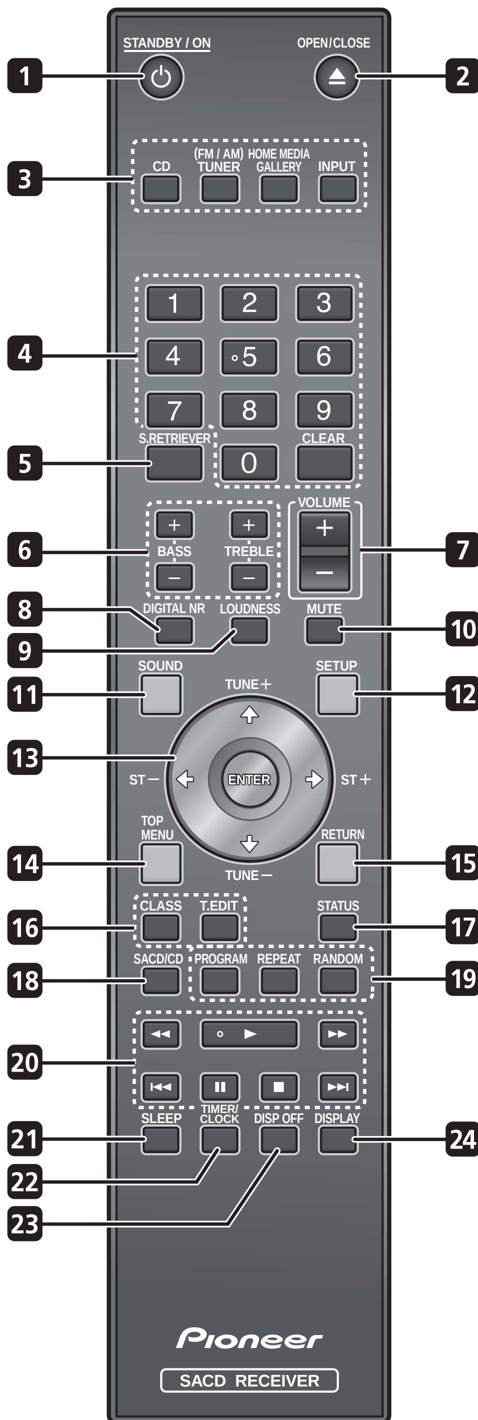
6 LAN(10/100)端子
ホームメディアギャラリーでネットワークオーディオやインターネットラジオを聞く場合に接続します。(23 ページ)

7 AMループアンテナ端子
付属の AM ループアンテナを接続します。(7 ページ)

8 FMアンテナ端子
付属の FM 簡易アンテナを接続します。(7 ページ)

9 SPEAKERS端子
別売りのスピーカーを接続します。(6 ページ)

リモコン



1 ⏻STANDBY/ONボタン(14ページ)

2 ⏏OPEN/CLOSEボタン(15ページ)

3 入力（ファンクション）切り換えボタン

CDボタン
CDやSACDを聞くときに使用します。(15ページ)

(FM/AM)TUNERボタン
FM/AM放送を聞くときに使用します。(19ページ)

HOME MEDIA GALLERYボタン
ホームメディアギャラリーでネットワークオーディオやインターネットラジオ、USBメモリー、iPodの音楽を聞くときに使用します。(26、28、31、32ページ)

INPUTボタン
外部機器の音楽を聞くときに使用します。押すたびにBT AUDIO、LINE 1、LINE 2、PHONO、FRONT AUDIO INの順番で入力が変わります。(43ページ)

4 数字/CLEARボタン
聞きたい曲やラジオステーションの番号を入力したり、呼び出しをするときに使用します。

5 S.RETRIEVERボタン
サウンドレトリバー機能を切り換えるときに使用します。(44 ページ)

6 BASS+/－、TREBLE+/－ボタン
低音 (BASS) および高音 (TREBLE) の音質を変えるときに使用します。(44 ページ)

7 VOLUME+/－ボタン
音量を調節します。(14 ページ)

8 DIGITAL NRボタン
外部機器の入力やラジオ音声のノイズを低減させるときに押します。(45 ページ)

9 LOUDNESSボタン
ラウドネス機能を切り換えるときに使用します。(44 ページ)

10 MUTEボタン
音を一時的に消す（ミュートする）ときに押します。もう一度押すと、もとの音量に戻ります。

11 SOUNDボタン
サウンドモードの切り換えに使用します。(44 ページ)

12 SETUPボタン
各種設定を行います。

13 ⬆⬇⬅➡/ENTERボタン
各種設定およびモードの選択や切り換え、決定などに使用します。

14 TOP MENUボタン
ホームメディアギャラリーでカテゴリー画面の選択に使用します。(26、28、31、32ページ)

15 RETURNボタン
各種設定など行っているときに、1つ前の項目に戻る場合に使用します。

16 CLASSボタン
インターネットラジオの放送局を記憶させるクラスを指定したり、呼び出すときに使用します。(29 ページ)

T.EDITボタン
インターネットラジオの放送局を記憶させるときに使用します。(29 ページ)

17 STATUSボタン
音質設定の状態確認をするときに押します。(45 ページ)

18 SACD/CDボタン
SACD の再生エリアを切り換えます。(17 ページ)

19 再生コントロールボタン

PROGRAM
CD（SACD）再生の順番を登録したり、ホームメディアギャラリーのお気に入りを登録するときに使用します。（17、27、29 ページ）

REPEAT
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで曲を繰り返し再生するときに使用します。（16、27、31、33 ページ）

RANDOM
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで曲を順不同に再生するときに使用します。（16、27、32、33 ページ）

20 再生操作ボタン（15、26、31、32ページ）

▶
再生します。

❚❚
一時停止します。

■
再生を停止します。

◀◀
再生中の曲を早戻しします。

▶▶
再生中の曲を早送りします。

❙◀◀
再生している曲の始めに戻ります。

▶▶❙
次の曲に進みます。

21 SLEEPボタン
スリープタイマーを設定するときに使用します。(49 ページ)

22 TIMER/CLOCKボタン
時計を表示させたり、時計や目覚ましタイマーをセットするときに使用します。（46 ～ 49 ページ）

23 DISP OFFボタン
本体表示窓を消灯させるときに使用します。(50 ページ)

24 DISPLAYボタン
CD（SACD）やホームメディアギャラリーで再生している曲の表示を切り換えます。（17、34 ページ）
また、iPod の操作を切り換えます。（33 ページ）

音楽を聞くには（リモコンの操作手順）

1. STANDBY/ON  ⏻STANDBY/ONボタンを押して本機の電源をオンにする

2. 入力（ファンクション）切り換えボタンを押して、聞きたい入力（ファンクション）を選ぶ



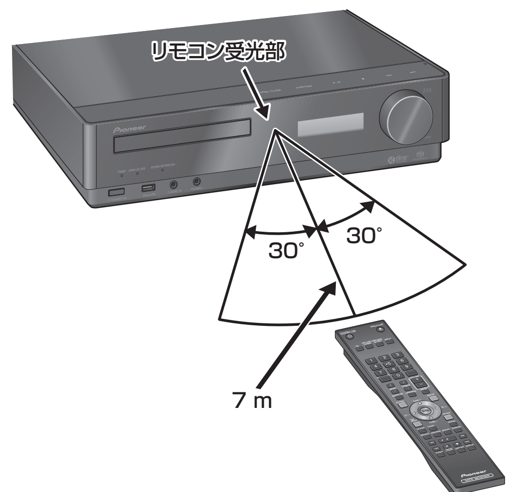
3. 音楽を再生する（15、22 ページ）

4. VOLUME VOLUME+/ －ボタンを押して音量を調節する

5. STANDBY/ON  音楽を聞き終わったら、⏻STANDBY/ON ボタンを押して本機の電源をスタンバイにする

リモコンの操作範囲

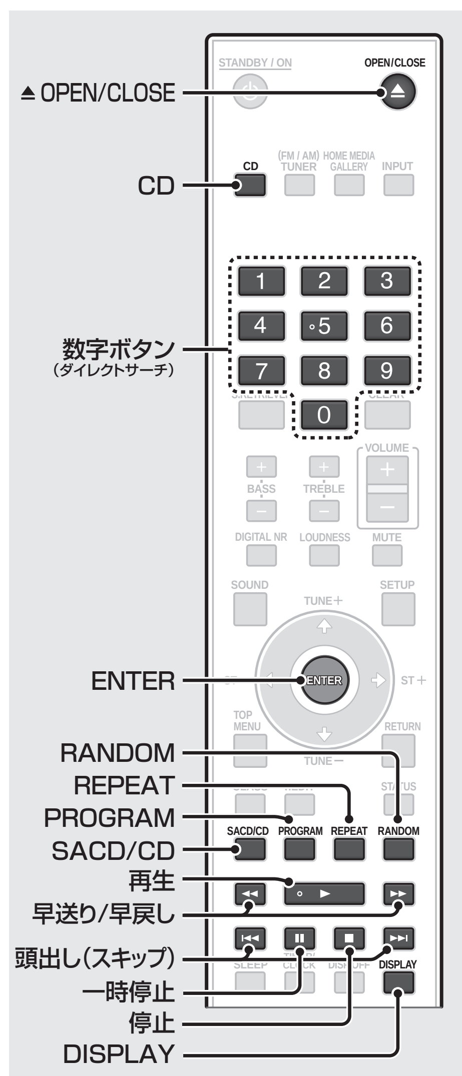
本機をリモコンで操作するときは、下図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。



- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

第 4 章

SACD/CD を聞く



ディスクを再生する

本機でディスクを再生するには、以下の手順で操作します。

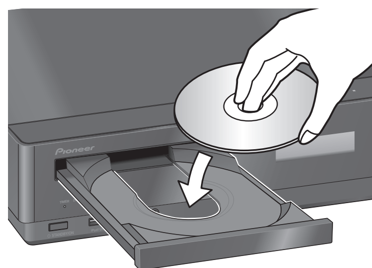
1. OPEN/CLOSE  **⏏OPEN/CLOSEボタンを押す**

入力（ファンクション）がCDに切り換わり、ディスクトレイが開きます。

- ディスクが入っている状態でCD入力に切り換える場合は、CD ボタンを押します。

2. ディスクトレイにディスクをセットする

ディスクをセットしたら、⏏OPEN/CLOSE ボタンを押してトレイを閉めてください。



3.  **▶（再生）ボタンを押す**

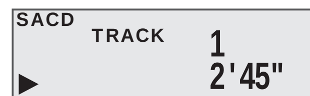
ディスクの再生を開始します。

基本再生 SACD CD (R/RW) WMA/MP3

- ▶ **再生する**

SACD/CDの場合

再生を開始し、表示部にトラック番号と経過時間が表示されます。



WMA/MP3の場合

再生を開始し、表示部にファイル名と経過時間が表示されます。



-  **再生を一時停止する**

もう一度 ⏸ボタンを押すか、▶ボタンを押すと、続きを再生します。

-  **再生を停止する**

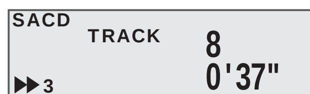
☑ メモ

- WMA/MP3 の日本語のファイル名が表示できるのは、Jolietフォーマット(18ページ)で記録されたディスクです。
- WMA/MP3 のファイル名は最大 25 文字まで表示されます。本機で表示できない文字は"＃"と表示されます。

早送り/早戻し再生 

● ◀◀ ▶▶ **再生中に ▶▶ ボタン(または ◀◀ ボタン)を押す**

ボタンを押すたびに、速さを4段階まで切り換えることができます。



通常の再生に戻すには ▶ボタンを押します。

頭出し（スキップ） 

● |◀◀ ▶▶| **再生中に▶▶|ボタン(または|◀◀ボタン)を押す**

押した回数だけ曲をスキップします。

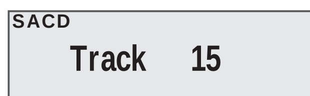
トラックを指定して再生する（ダイレクトサーチ） 

トラック番号を直接指定して再生することができます。

● **数字ボタンでトラック番号を入力して、ENTER ボタンを押す**



ENTER ボタンを押さなくても、2 秒以上経過すると自動的に再生を開始します。



☑ **メモ**

- プログラム再生時はダイレクトサーチはできません。

繰り返し再生する（リピート）



再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、ディスクの全曲を繰り返すディスクリピートがあります。

● REPEAT **再生中にREPEATボタンを押す**



リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。



1曲リピートにすると「⟲1」が、ディスクリピートにすると「⟲」が点灯します。

☑ **メモ**

- ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。
- プログラム再生中にREPEATボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

順不同に再生する（ランダム）



すべての曲から順不同に選んで、各曲を1 回ずつ再生します。

● RANDOM **RANDOMボタンを押す**



ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ **メモ**

- ディスクを停止するか、RANDOMボタンをもう一度押すと、ランダム再生は解除されます。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に ▶▶|ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。
- 再生している曲より前の曲に戻ることはできません。

好みの順に再生する（プログラム）

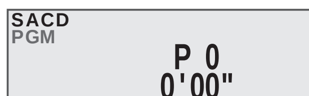


聞きたい曲を最大24曲まで、好きな順番に登録することができます。

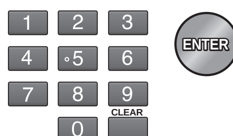
1. PROGRAM **停止中にPROGRAMボタンを押す**



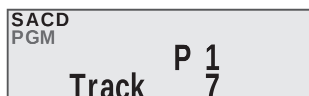
「PGM」が点灯します。



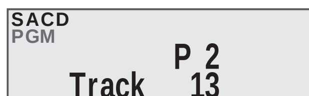
2. 聞きたい曲の番号を数字ボタンで入力して、ENTER ボタンを押す



15 曲目を選ぶときは、**数字**ボタンの **1** と **5** を押してから、ENTER ボタンを押します。入力を間違えたときは、CLEAR ボタンを押します。



3. 手順 2 を繰り返して、聞きたい曲の曲番号を登録する



4.  **▶ ボタンを押す**

プログラムした順に再生を開始します。
■ボタンを押すとプログラム再生を終了します。
再度プログラム再生をするときは、停止中にPROGRAMボタンを押してから▶ボタンを押します。プログラムを追加したいときは、再度手順1～2を行います。

☑ メモ

- 停止中に CLEAR ボタンを押すと、プログラムされている内容をすべて消去します。
- 停止中にPROGRAMボタンを押してから CLEAR ボタンを押すと、最後に登録した曲から順番に削除します。
- プログラム再生中に▶▶Iボタンを押すと、次のプログラムの曲を再生します。

再生情報を見る



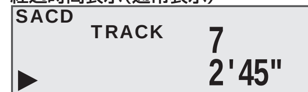
曲の経過時間表示のほかに、曲の残り時間またはディスク全体の残り時間の表示に切り換えることができます。

- DISPLAY **再生中にDISPLAYボタンを押す**

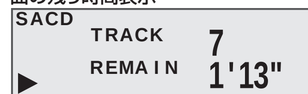


ボタンを押すたびに、以下のように表示が切り換わります。

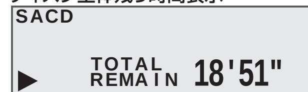
経過時間表示（通常表示）



曲の残り時間表示



ディスク全体残り時間表示



SACDの再生エリアを切り換える



ハイブリッドSACDは、SACD層とCD層の2層構造になっています。本機で聞きたいエリアを選択します。

- SACD/CD **停止中にSACD/CDボタンを押す**



押すたびにCDエリアとSACDエリアが切り換わります。

☑ メモ

- 本機はSACDマルチチャンネルには対応していません。

4 SACD／CDを聞く

再生できるディスクについて

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、MP3やWMAの音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- レコーダーまたはパソコンで記録されたディスクは、ディスクの特性や傷、汚れ、およびプレーヤー部のレンズの汚れや結露などにより再生できないことがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。
  ※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- マルチセッション（66ページ参照）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- WMAまたはMP3ファイルが記録されたディスクの場合、1枚のディスクに最大299フォルダーまで、各フォルダーごとにフォルダーとトラックの数の合計で648まで認識・再生できます。
- CD-R/CD-RWに記録されたAACファイルは再生できません。

MP3 の再生について

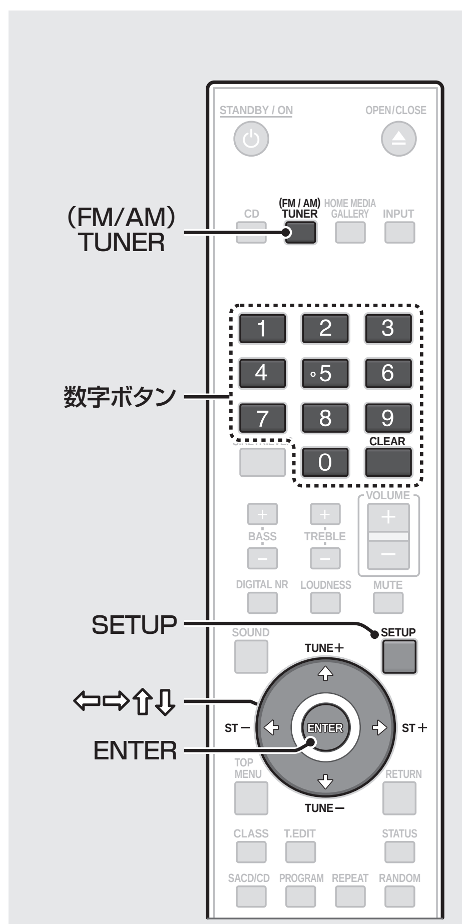
- MPEG1 オーディオレイヤー 3のサンプリング周波数32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- 音質的には、記録ビットレート128 kbps以上を推奨します。

WMA の再生について

- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAファイルは、Windows Media Player Ver.7以降、Windows Media Player for Windows XP、またはWindows Media 9 Series以降のバージョンを使用してエンコードすることができます。
  Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- サンプリング周波数32 kHz、44.1 kHz、または48 kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは再生することができません。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）、またはロスレスエンコーディング（loss-less encoding）には対応していません。
- DRMコピープロテクト（著作権保護）のかかったWMAファイルは再生できません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついたWMAファイルのみ再生することができます。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 音質的には、記録ビットレート128 kbps以上を推奨します。

第5章

ラジオを聞く



☑ 注意

- 本機のFM放送とテレビ音声は兼用の回路で受信しているため、地域によってはテレビの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

☑ メモ

- 放送局を受信すると、表示部に「Ƴ」が点灯します。
- FMステレオ放送受信時は、表示部に「ꝏ」が点灯します。ただし、**FM Mono**に設定している場合(20ページ)や、電波が弱い場合はステレオ音声にならず、「ꝏ」は点灯しません。
- テレビの1～3チャンネルを受信したときは、モノラル音声（2か国語放送は主音声のみ）となります。
- アナログテレビ放送は2011年7月で停波されることが決まっています。

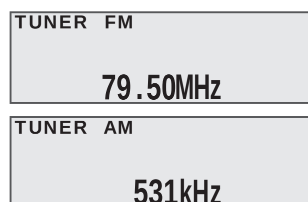
放送局を受信する

アンテナが接続されていないと、FM/AM放送を聞くことはできません。7ページを参照して、アンテナを接続してください。

1. (FM / AM) TUNER

TUNERボタンを押す

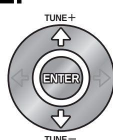
ラジオが聞ける状態になります。



TUNERボタンを押すたびに、FMとAMが切り換わります。
FM放送を聞くときはFMを、AM放送を聞くときはAMを選択してください。

- FMチューナー選択時はアナログテレビ放送の1～3チャンネルも受信することができます。

2.



⇧ ⇩（TUNE＋/－）ボタンを押して、聞きたい放送局に周波数を合わせる

周波数の合わせかた（チューニング）には、以下の3通りがあります。

- **オートチューニング**

⇧ ⇩（**TUNE＋/－**）ボタンを押し続けて、周波数が動き始めたら指を離します。
周波数が自動的に変化して、放送局を受信すると自動的に止まります。
途中で止めるときは、もう一度⇧ ⇩を押すか、**ENTERボタン**を押します。

- **マニュアルチューニング**

⇧ ⇩（**TUNE＋/－**）ボタンを1回ずつ押します。
周波数が1ステップずつ変化します。

- **ハイスピードマニュアルチューニング**

⇧ ⇩（**TUNE＋/－**）ボタンを押し続けます。
ボタンを押している間、周波数が連続して変化し、指を離すと止まります。

FM放送の雑音を減らす

遠い放送局や電波の弱い地域などで、FMのステレオ放送に雑音が多いときは、強制的にモノラルにして放送を聞きやすくすることができます。
通常は、放送局側に合わせて自動的にステレオとモノラルを切り換える"FM Auto"に設定してください。

1. (FM / AM) TUNER



TUNERボタンを押して、FM放送を受信する

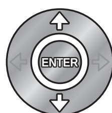
放送局の受信のしかたは、19ページを参照してください。

2. SETUP



SETUP ボタンを押す

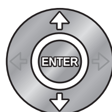
3.



⇧ ⇩ ボタンで "Tuner Setup" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
System Setup
 •Dimmer            ↑
⊙Tuner Setup
                    ↓
```

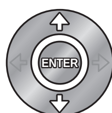
4.



⇧ ⇩ ボタンで "FM Auto/Mono" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
Tuner Setup
 •Station Memory    ↑
⊙FM Auto/Mono
 •Auto Preset       ↓
```

5.



⇧ ⇩ ボタンで "FM Mono" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
FM Auto/Mono
 •FM Auto           ↑
⊙FM Mono
                    ↓
```

表示部に、「○」が点灯します。

```
TUNER FM
○
      79.50MHz
```

FMステレオ放送をステレオで受信するように設定する場合は、"FM Auto"にします。

放送局を記憶させる

本機に放送局を記憶させて、あとから簡単に呼び出すことができます。受信できる放送局を自動的に選曲して記憶させる方法と、受信している放送局を手動で記憶させる方法があります。
自動で記憶させるステーション（記憶番号）と手動で記憶させるステーションを合わせて、30ステーション記憶させることができます。

自動的に受信して放送局を記憶させる

受信可能な放送局を自動的に順次選局して、放送局ごとに記憶させます。

1. (FM / AM) TUNER



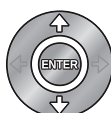
TUNERボタンを押して受信可能な状態にする

2. SETUP



SETUP ボタンを押す

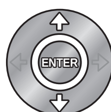
3.



⇧ ⇩ ボタンで "Tuner Setup" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
System Setup
 •Dimmer            ↑
⊙Tuner Setup
                    ↓
```

4.



⇧ ⇩ ボタンで "Auto Preset" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
Tuner Setup
 •Station Memory    ↑
 •FM Auto/Mono
⊙Auto Preset        ↓
```

FM放送、AM放送の順に、自動的に選局が始まります。

5.



選局されて表示が止まったら、ENTER ボタンを押して記憶させる

記憶させない場合はCLEARボタンを押します。

```
TUNER FM
        Station- 1
         79.50MHz  Set?
```

次の放送局の選局が始まります。

6. **手順 5 を繰り返して、放送局を順次記憶させる**

30 局まで記憶させるか、周波数が一巡すると、自動的に終了します。

☑ メモ

- 途中で中止するときは ■(停止)ボタンを押します。

受信している放送局を手動で記憶させる

1. (FM / AM) TUNER **TUNERボタンを押して、記憶させたい放送局を受信する**

放送局の受信のしかたは、19ページを参照してください。

2. SETUP **SETUP ボタンを押す**

3. **⇧ ⇩ ボタンで "Tuner Setup" を選んで、ENTER ボタンを押す**

```
System Setup
  •Dimmer            ↑
 ⊙Tuner Setup
                     ↓
```

4. **⇧ ⇩ ボタンで "Station Memory" を選んで、ENTER ボタンを押す**

```
Tuner Setup
 ⊙Station Memory     ↑
  •FM Auto/Mono
  •Auto Preset       ↓
```

5. **⇧ ⇩ ボタンで、記憶させるステーションを選ぶ**

記憶させるためのステーションは1～30まであります。

```
Station Memory
      Station-1      ↑
       79.50MHz      ↓
```

6. **ENTER ボタンを押して記憶させる**

☑ メモ

- FM放送を記憶させる場合は、FM Auto/FM Monoの設定も一緒に記憶されます。
- すでに記憶されているステーションに違う放送局を記憶させると、前の放送局は消去され、新しい放送局がステーションに記憶されます。

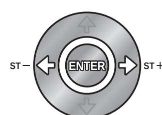
記憶させた放送局を呼び出す

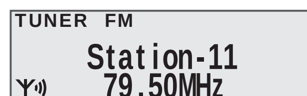
各ステーション（記憶番号）に記憶させた放送局を聞くことができます。

1. (FM / AM) TUNER **TUNERボタンを押す**

ラジオが聞ける状態になります。

2. **⇦ ⇨ (ST+/ −) ボタンで、呼び出したいステーションを選ぶ**





リモコンの数字ボタンで呼び出す

記憶させた放送局を数字ボタンでダイレクトに選ぶことができます。

1. (FM / AM) TUNER **TUNERボタンを押す**

ラジオが聞ける状態になります。

2. **呼び出したいステーションと同じ数字ボタンを押す**

1	2	3
4	5	6
7	8	9
	0	CLEAR

（例）　ステーション2：2

ステーション18：1 8

3. **ENTER ボタンを押す**

数字ボタンを押して2秒以上待つと、ENTERボタンを押さなくても自動的に選ばれます。

第 6 章

ホームメディアギャラリーを聞く

本機のホームメディアギャラリーでは、LAN端子を使って接続したパソコンなどの音楽ファイルや、インターネットラジオを聞くことができます。また、USB端子に接続されたUSBメモリーや、iPodの再生をすることもできます。

ホームメディアギャラリーの特長

1. パソコン※にためた音楽ファイルを本機で再生

パソコン内に保存されているたくさんの曲を、本機で再生することができます。

⇨ 「ネットワークオーディオを聞く」(25ページ)

2. インターネットラジオ放送の受信

パイオニア専用に編集、管理されているvTunerが提供する放送局リストから、お好きな放送局を選んで再生することができます。

⇨ 「インターネットラジオを聞く」(28ページ)

3. USB メモリーに保存されている音楽ファイルを本機で再生

フォルダー / ファイルリスト画面を表示し、再生したい曲をダイレクトに再生することができます。

⇨ 「USB メモリーを再生する」(31ページ)

4. iPod を本機で操作、再生

iPodを接続して、本機で操作や再生ができます。

⇨ 「iPodを再生する」(32ページ)

※パソコン以外にも、DLNA1.0に準拠したメディアサーバー機能を持つ機器(たとえば、ネットワーク型ハードディスクやネットワーク対応のオーディオシステムなど)に保存されている音楽ファイルであれば、本機で再生することができます。

■DLNA



DLNA CERTIFIED™ Audio Player
DLNA およびDLNA CERTIFIEDはDigital Living Network Allianceの商標です。

ホームメディアギャラリーをお楽しみ頂くためのステップ

ネットワーク上の音楽ファイルやインターネットラジオを再生する場合

Step1 **「LAN端子でネットワークに接続する」(→23ページ)**

⇩

Step2 **「ネットワークの設定を行う (ルーターにDHCPサーバー機能がない場合)」(→36ページ)**

⇩

Step3 **「ネットワークオーディオを聞く」(→25ページ)**
「インターネットラジオを聞く」(→28ページ)

USB メモリーを再生する場合

Step1 **「USBメモリーを接続する」(→24ページ)**

⇩

Step2 **「USBメモリーを再生する」(→31ページ)**

iPod を再生する場合

Step1 **「iPodを接続する」(→24ページ)**

⇩

Step2 **「iPodを再生する」(→32ページ)**

接続する

LAN端子でネットワークに接続する

ネットワークオーディオやインターネットラジオを聞く場合は、LANケーブルを使用して本機をネットワークに接続します。



- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

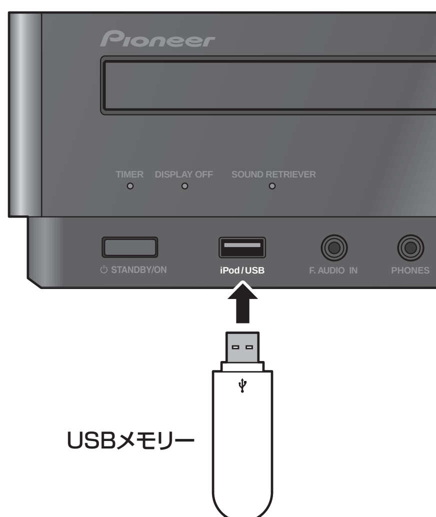
本機のLAN 端子とルーター (DHCP サーバー機能付きなど)のLAN 端子を、市販のストレートLAN ケーブル(CAT-5以上)で接続します。

- ルーターのDHCPサーバー機能をオンにします。ルーターにDHCPサーバー機能がない場合は、ネットワークを手動で設定する必要があります。詳しくは「ネットワークの設定を行う (ルーターにDHCP サーバー機能がない場合)」(36ページ)をご覧ください。

WAN
インターネット
ラジオ
モデム
WAN
WAN
ネットワーク
オーディオ
LAN
LAN
LAN
LANケーブル
(市販品)
パソコンなど
ルーター
本機背面
LAN(10/100)端子へ
AC IN
ADAPTER PORT
L
R
IN
OUT
IN
IN
LINE 2
LINE 1
PHONO
LAN
(10/100)
アンテナ端子
AMループ
アンテナ
FM 75Ω
SPEAKERS
R
L

USBメモリーを接続する

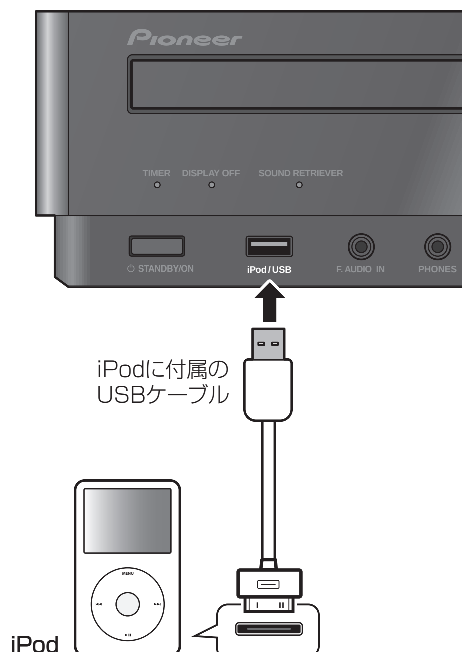
お手持ちのUSBメモリーを本機に接続することで、USBメモリーに記録されている音楽ファイルを本機で再生することができます。本機前面のiPod/USB端子に接続してください。



- 本機とパソコンをUSB ケーブルで接続して、音楽ファイルを再生することはできません。本機が対応しているUSBメモリーは、外付ハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオ再生機（FAT16、FAT32 のフォーマットに対応）などのUSB マスストレージクラスに属する機器です。
- 本機はUSBハブには対応していません。
- 本機では、すべてのUSB メモリーの再生、および電源の供給を保証できない場合があります。また、本機と接続したことで、万一USB メモリーのファイルが損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

iPodを接続する

iPodの接続には、iPodに付属のUSBケーブルを使用します。本機前面のiPod/USB端子に接続してください。



- 本機は、第5世代以降のiPodやiPod nano、iPod classic、iPod touchに対応しています（iPod shuffle、iPhoneには対応しておりません）。ただし、モデルによっては一部機能が制限されます。
- iPodの機能については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPodのソフトウェアのバージョンによっては本機で操作できないことがあります。最新のバージョンのソフトウェアでご使用ください。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- パイオニア製品からiPodのイコライザを操作することはできません。本機にiPodを接続する前に、iPodのイコライザを「オフ」に設定することをお勧めします。
- 本機とiPodを組み合わせてご使用の際、万一iPodのデータに不具合が生じても、データの補償はいたしかねますのであらかじめご了承ください。

ネットワークオーディオを聞く

本機では下記の機器に保存されているネットワーク上の音楽ファイルを再生できます。

- OS がMicrosoft Windows XP Service Pack 2で、Windows Media Connect がインストールされているパソコン
- OS がMicrosoft Windows Vista またはWindows XP Service Pack 2で、Windows Media Player 11がインストールされているパソコン
- DLNA に対応しているデジタルメディアサーバー（パソコンなど）

ネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルや、インターネットラジオを再生するには、ルーターの**DHCPサーバー機能がONになっている**必要があります。
DHCPサーバー機能がないルーターの場合は、ネットワークの設定を行わなければネットワーク上の音楽ファイルやインターネットラジオの再生ができません。詳しくは、「ネットワークの設定を行う（ルーターにDHCP サーバー機能がない場合)」(36ページ)をご覧ください。

☑ メモ

- 本機は下記の技術を使ってネットワーク上の機器に保存されている音楽ファイルを再生します。各技術の詳細については「用語解説」(66ページ)もあわせてご覧ください。
  ー Windows media Player 11、Windows Media Connect
  ー Windows Media DRM
  ー DLNA
- 本機が対応している形式のファイルでも再生できないことがあります。
- 映像ファイルは再生できません。
- 接続している機器の種類やソフトウェアのバージョンによって働かない機能があります。
- 対応しているファイルの形式は接続している機器によって異なります。接続している機器が対応していない形式のファイルは表示されません。詳しくはお使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 接続している機器の性能や状態によって再生が停止したり、正しく再生できないことがあります。
- ネットワークの通信が混雑していると、ファイルが表示されない、または再生できないことがあります。ネットワーク上の機器と接続するときは100BASE-TXのご利用をお勧めします。
- ネットワーク上の複数の機器が同じファイルを同時に再生すると、再生が停止することがあります。
- 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされていると、ネットワークに接続できないことがあります。
- 当社は本機とネットワーク上で接続している機器の不具合や、ファイルまたはデータの破損などに関して一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。接続している機器のメーカー、またはプロバイダーにお問い合わせください。
- Windows のネットワーク環境で、ドメインが構成されている場合、ドメインにログオンしているとパソコンに接続できません。ドメインではなくローカルマシンにログオンしてください。
- 可変ビットレート（VBR）で圧縮されたファイルも再生できますが、経過時間が正しく表示されない場合があります。

接続しているサーバーに本機を認証させる

ホームメディアギャラリーを使って、サーバーに保存されているファイルを再生するには、あらかじめサーバーが本機を認証（許可）している必要があります。認証（許可）方法は接続しているサーバーによって異なります。詳しくはサーバーの取扱説明書をご覧ください。

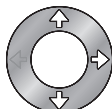
1. HOME MEDIA GALLERY



HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります（ネットワークに接続するため、多少時間がかかることがあります）。

2.

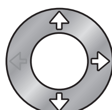


⇧ ⇩ ボタンで接続しているサーバーを選んで、⇨ ボタンを押す

サーバーの名前は、接続している機器によって異なります。

Internet Rad ↑
WMP11 →
Favorites ↓ 2/5

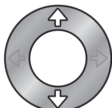
3.



フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す

北の国まで ↑
東北名曲集 →
雪国の夏 ↓ 2/18

4.



再生したい音楽ファイルを選ぶ

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。

♫じょんがら節 ↑
♫帰ってよいよ →
♫三味線三昧 ↓ 7/46

5.



ENTER ボタンを押す

再生が開始されます。

Network 1'31"
帰ってよいよ
▶ アーティスト1

☑ **メモ**

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- フォルダー内のすべての曲を再生すると、再生を停止します。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ ボタンを押してから上記の手順3〜5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、DISPLAYボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（インターネットラジオやUSBメモリー、iPod）の曲を選択するときは、TOP MENUボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）

基本再生

- ▶ **再生する**

再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。

Network 1'02"
ソング1
▶ アーティスト1

● 再生中の表示内容を切り換えることができます。（34 ページ）

- ⏸ **再生を一時停止する**

再生を再開するには▶ボタンを押します。

- ■ **再生を停止する**

再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

頭出し（スキップ）

- ⏮ ⏭ **再生中に▶▶|ボタン（または|◀◀ボタン）を押す**

☑ **メモ**

- 早送り/早戻し再生はできません。

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

- REPEAT **再生中にREPEATボタンを押す**

リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。

1曲リピート → フォルダーリピート → リピートオフ → 1曲リピート

1曲リピートにすると「🔁1」が、フォルダーリピートにすると「🔁」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

- RANDOM **再生中にRANDOMボタンを押す**

ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ **メモ**

- RANDOMボタンをもう一度押して解除するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中に ►►I ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、I◄◄ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。

お気に入りに登録する

好きな曲をお気に入りに登録することができます。
登録した曲を聞くには、トップメニューでFavoritesを選んで再生します。

- PROGRAM **曲の再生または停止中にPROGRAMボタンを押す**

曲がお気に入りに登録されます。

Favorite added

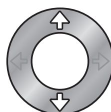
☑ **メモ**

- お気に入りは、インターネットラジオと合わせて20まで登録することができます。それ以上登録しようとすると、「Favorite List Full」と表示されて登録できません。
- すでに登録されている曲をもう一度登録しようとすると、「Item already exists」と表示されます。

お気に入りの曲を削除する

聞かなくなった曲などを、お気に入りから削除します。
削除の操作は、トップメニューでFavoritesを選んで曲の選択画面で行います。

1. Favoritesの曲の選択画面で、削除したい曲を選ぶ



ソング5
ソング6
ソング7
6/15

2. CLEAR CLEARボタンを押す

曲がお気に入りから削除されます。

Favorite removed

インターネットラジオを聞く

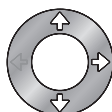
1. HOME MEDIA GALLERY



HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

2.

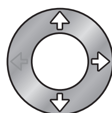


⇧ ⇩ ボタンで "Internet Radio" を選んで、⇨ ボタンを押す



● トップメニュー表示中にRETURNボタンを押した場合は、最後に聞いていた放送局が自動的に選局されます。一度もインターネットラジオを聞いていない場合は、「Preset Not Stored」と表示されます。

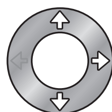
3.



フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す



4.



再生したい放送局を選ぶ

再生できるのは♫マークがついている放送局です。



5.



ENTER ボタンを押す

再生が開始されます。



● 表示部に「RDM」が点灯している場合は、RANDOM ボタンを押して消灯させてください。また、「⟲1」や「⟲」が点灯している場合は、REPEAT ボタンを繰り返し押して、これらを消灯させてください。

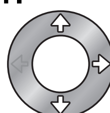
☑ メモ

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。放送局によっては数秒表示されることがあります。
- 再生を停止するには、■（停止）ボタンを押します。
- 再生中に他の放送局やフォルダーを選択するときは、⇦ ボタンを押してから左記の手順3～5を操作してください。（再生中の放送局の表示に戻るときは、DISPLAYボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやUSBメモリー、iPod）の曲を選択するときは、TOP MENUボタンを押してください。（再生は停止します。）

選局履歴から放送局を選ぶ

選んだ放送局の履歴は本機に保存され、あとから簡単に選ぶことができます。履歴は最新のものから20局まで保存されます。

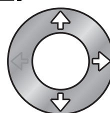
1.



左記手順1のあとに、⇧ ⇩ボタンで "Recently Played" を選んで、⇨ ボタンを押す



2.



履歴の中から、再生したい放送局を選ぶ



3.



ENTER ボタンを押す

再生が開始されます。



お気に入りに登録する

好きな放送局をお気に入りに登録することができます。登録した放送局を聞くには、トップメニューでFavoritesを選んで再生します。

- PROGRAM **放送局の再生中、または選局画面（28ページの手順4）で放送局を選んで、PROGRAMボタンを押す**

  放送局がお気に入りに登録されます。

  Favorite added

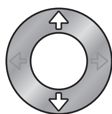
☑ メモ

- お気に入りは、ネットワークオーディオと合わせて20まで登録することができます。それ以上登録しようとすると、「Favorite List Full」と表示されて登録できません。
- すでに登録されている放送局をもう一度登録しようとすると、「Item already exists」と表示されます。

お気に入りの放送局を削除する

聞かなくなった放送局などを、お気に入りから削除します。削除の操作は、トップメニューでFavoritesを選んで、放送局の選択画面で行います。

1. Favoritesの放送局の選択画面で、削除したい放送局を選ぶ



♪ソング5
♪ソング6
♪ソング7
6/15

2. CLEAR **CLEAR ボタンを押す**

放送局がお気に入りから削除されます。

Favorite removed

放送局を記憶させる

本機にインターネットラジオの放送局を記憶させて、あとから簡単に呼び出すことができます。放送局は、A、B、Cの3つのクラスに各10局、合計30局までステーション（記憶番号）に記憶させることができます。

1. 記憶させたい放送局を再生する

再生する手順は、「インターネットラジオを聞く」(28ページ) を参照してください。

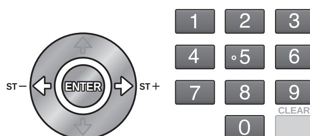
2. T.EDIT **T.EDIT ボタンを押す**



放送局の記憶モードになります。

Station Memory
A_

3. CLASS **CLASSボタンで記憶させるクラスを、⇦ ⇨ (ST+/ −) ボタンまたは数字ボタンでステーション番号（0 ～ 9）を選んで、ENTER ボタンを押す**



- 途中でやめるときは、もう一度 T.EDIT ボタンを押してください。

記憶させた放送局を呼び出す

各ステーション（記憶番号）に記憶させたインターネットラジオの放送局を聞くことができます。

- CLASS **CLASSボタンと数字ボタンでステーション番号を入力する**



入力すると、約2秒後に選択した放送局に切り換わります。

Internet Radio
B2

- 記憶されていないステーションを選択すると、「Preset Not Stored」と表示されます。

インターネットラジオの再生について

■インターネットラジオについて
インターネットラジオとは、インターネットを通じて配信しているラジオのことです。インターネットラジオの放送局には個人が運営するものから地上波の放送局が運営するものまで、さまざまな放送局が世界中に多数存在しています。地上波のラジオは電波の届く範囲でのみ放送を聞くことができますが、インターネットラジオではインターネットを通じて世界中の放送を聞くことができます。本機ではジャンル別、地域別に放送局を選択することができます。

■インターネットラジオ局について
本機のインターネットラジオ局リストは、ラジオ局データベースサービス（vTuner ）を利用しています。
このデータベースサービスは、本機用に編集・作成されたリストです。

■エラーメッセージについて
インターネットラジオの放送局によっては、放送していなかったり、本機で再生できないフォーマットの場合があります。表示部にエラーメッセージが表示された場合は、⇦ボタンを押して元の画面に戻ってください。詳しくは「こんな表示が出たときは」(56ページ)をご覧ください。

☑ **メモ**

- インターネットラジオを聞くときはインターネットをブロードバンドで接続してください。56KモデムやISDNでは十分にお楽しみいただけないことがあります。
- vTunerから提供されている放送局リストは予告なく停止される場合があります。
- 放送局リストで選択できる放送局でも、放送を中断または中止していて再生できないことがあります。

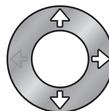
パイオニア専用サイトからvTunerのリストにない放送局を登録する

本機ではvTunerから配信される放送局リストにない放送局を登録し、再生することができます。本機で登録に必要なアクセスコードを確認し、そのアクセスコードを使ってパイオニア専用のインターネットラジオサイトにアクセスして、お気に入りの放送局の登録などを行います。パイオニア専用のインターネットラジオサイトは以下のアドレスです。
http://www.radio-pioneer.com

1. **インターネットラジオのリスト画面を表示する**

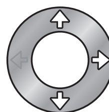
「インターネットラジオを聞く」(28 ページ) の手順 1 ～ 2 を行います。

2. **⇧ ⇩ ボタンで "Help" を選んで、⇨ ボタンを押す**



Roukyoku
Heavy Metal
Help
12/12

3. **⇧ ⇩ ボタンで "Get access code" を選んで、⇨ ボタンを押す**



Registration
Get access c
Reset Your W
2/5

4. **お手持ちのパソコンでパイオニア専用のインターネットラジオサイトへアクセスし、登録操作を行う**

http://www.radio-pioneer.com
上記サイトへアクセスし、手順 3 のアクセスコードを使い、画面に従ってユーザー登録を行います。

5. **パソコンの画面に従って、お気に入りの放送局を登録する**

vTuner のリストにある放送局はもちろん、vTuner の放送局リストにない放送局も登録できます。この場合はお気に入りの放送局として本機に登録され、再生することができます。

☑ **メモ**

- 「Help」画面では以下の点を確認できます。
  Get access code
  パイオニア専用インターネットラジオサイトの登録に必要なアクセスコードが表示されます。
  Show Your WebID/PW
  パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録したあと、登録された ID とパスワードが表示されます。
  Reset Your WebID/PW
  パイオニア専用インターネットラジオサイトで登録した内容をすべてリセットします。リセットすると登録した放送局もすべて消えてしまいますので、同じ放送局を聞きたいときはリセット後、登録をし直してください。

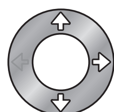
USBメモリーを再生する

1. HOME MEDIA GALLERY

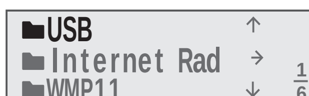
HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

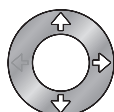
2.



⇧ ⇩ ボタンで "USB" を選んで、⇨ ボタンを押す



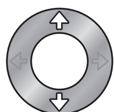
3.



フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す



4.



再生したい音楽ファイルを選ぶ

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。



5.



ENTER ボタンを押す

再生が開始されます。



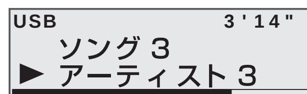
☑ **メモ**

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- フォルダー内のすべての曲を再生すると、再生を停止します。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから上記の手順3〜5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、DISPLAYボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやインターネットラジオ）の曲を選択するときは、TOP MENUボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）

基本再生

- **再生する**

  再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。



  ● 再生中の表示内容を切り換えることができます。(34 ページ)

-  **再生を一時停止する**

  再生を再開するには▶ボタンを押します。

-  **再生を停止する**

  再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

頭出し（スキップ）

-   **再生中に▶▶|ボタン(または|◀◀ボタン)を押す**

☑ **メモ**

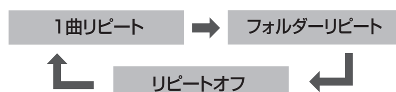
- 早送り/早戻し再生はできません。

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す１曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

- REPEAT **REPEATボタンを押す**

  リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。



  1曲リピートにすると「🔂」が、
  フォルダーリピートにすると「🔁」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

● RANDOM  **再生中にRANDOMボタンを押す**

ランダム再生を開始します。表示部に「RDM」が点灯します。

☑ メモ

- RANDOMボタンをもう一度押して解除するまで、ランダム再生を続けます。
- ランダム再生中に ▶▶I ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、I◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。

USBメモリーの再生について

31ページの手順3～4で選択できるフォルダー階層は最大8階層までです。1つのフォルダー内で最大2000までのフォルダーを表示、再生することができます。

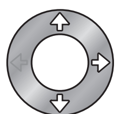
☑ メモ

- 容量の大きいUSBメモリーを接続したときは、読み込みに多少時間がかかることがあります。
- 著作権保護のかかったファイルは再生することができません。

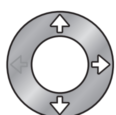
iPodを再生する

1. HOME MEDIA GALLERY  **HOME MEDIA GALLERYボタンを押す**

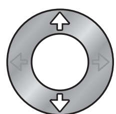
ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります。

2.  **⇧ ⇩ ボタンで "iPod" を選んで、⇨ ボタンを押す**

```
■iPod            ↑
■Internet Rad    →  1
■WMP11           ↓  6
```

3.  **フォルダー（■マーク）が表示されている場合は、⇧ ⇩ ボタンでフォルダーを選んで、⇨ ボタンを押す**

```
 ■Playlists      ↑
←■Arists         →  2
 ■Albums         ↓  7
```

4.  **再生したい音楽ファイルを選ぶ**

再生できるのは♫マークがついている音楽ファイルです。

```
 ♫亀甲おろし      ↑
←♫瀬戸の花婿      →  34
 ♫長崎は昨日も    ↓  70
```

5.  **ENTER ボタンを押す**

再生が開始されます。

```
iPod          0'25"
  瀬戸の花婿
►アーティスト4
```

☑ メモ

- 再生するときは、「Connecting...」と表示されてから再生を始めます。音楽ファイルによっては数秒表示されることがあります。
- 再生中に他の曲やフォルダーを選択するときは、⇦ボタンを押してから上記の手順3～5を操作してください。（再生中の曲の表示に戻るときは、DISPLAYボタンを押します。）
- 他のカテゴリー（ネットワークオーディオやインターネットラジオ）の曲を選択するときは、TOP MENUボタンを押してください。（再生中の曲は停止します。）
- 本機の表示は、iPod本体のメニュー構造とは異なります。

基本再生

- **再生する**

再生を開始し、表示部に経過時間と曲名やアーティスト名などが表示されます。



● 再生中の表示内容を切り換えることができます。(34 ページ)

- **再生を一時停止する**

再生を再開するには▶ボタンを押します。

- **再生を停止する**

再生を停止し、選曲メニューに戻ります。

早送り/早戻し再生

- **再生中に▶▶ボタン(または◀◀ボタン)を押し続ける**

ボタンを放すと、通常の再生に戻ります。

頭出し（スキップ）

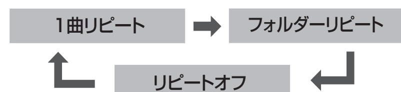
- **再生中に▶▶|ボタン(または|◀◀ボタン)を押す**

繰り返し再生（リピート）

再生している曲だけを繰り返す1曲リピートと、フォルダー内の全曲を繰り返すフォルダーリピートがあります。

- REPEAT **REPEATボタンを押す**

リピート再生を開始します。ボタンを押すたびに、以下のようにリピートモードが切り換わります。



1曲リピートにすると「」が、フォルダーリピートにすると「」が点灯します。

順不同に再生する（ランダム）

フォルダー内のすべての曲から順不同に選んで再生します。

- RANDOM **再生中にRANDOMボタンを押す**

ランダム再生を開始します。表示部に「」が点灯します。

☑ メモ

- RANDOMボタンをもう一度押すと、ランダム再生を解除します。
- すべての曲を再生したら、再生を停止してリスト画面に戻ります。
- ランダム再生中に ▶▶|ボタンを押すと、順不同に次の曲を選択して再生します。また、|◀◀ボタンを押すと、現在再生中の曲の始めに戻り再生します。

iPodの操作を切り換える

iPod の操作を本機とiPod 本体とで切り換えることができます。

- DISPLAY **再生中、またはフォルダー選択画面で、DISPLAYボタンを2秒以上押す**

「iPod direct operation」と表示されます。iPodの操作はiPod側で行ってください。

ⓘ iPod direct operation

本機でiPodを操作するには、もう一度DISPLAYボタンを2秒以上押してください。

☑ メモ

- iPodの操作の切り換えは、第2世代以降のiPod nanoおよびiPod classic、iPod touchに対応しています。それ以外のiPodを接続しているときは、「Can't use」と表示されて、切り換えることができません。

6 ホームメディアギャラリーを聞く

再生情報を見る

ホームメディアギャラリーで再生中に、表示内容を切り換えることができます。

● DISPLAY



再生中にDISPLAYボタンを押す

ボタンを押すたびに以下のように表示が切り換わります。

再生時間/タイトル/アーティスト表示
（通常表示）

iPod 1'27"
ソング 1
▶ アーティスト1



再生時間/タイトル/アルバム表示

iPod 1'27"
ソング 1
▶ アルバム1

☑ **メモ**

- アルバム名が入っていないときは、表示の切り換えはできません。
- iPod以外では、アーティスト名が入っていないときはファイル名が表示されます。

再生できるフォーマットについて

ホームメディアギャラリーでは、以下のファイルフォーマットに対応しています。ただし、対応しているフォーマットでも再生できないことがあります。また、サーバーによってサポートされるフォーマットが異なりますので、お使いのサーバーもあわせてご確認ください。

種別	拡張子	ストリーム		
MP3	.mp3	● MPEG-1 オーディオレイヤー 3	サンプリング周波数	8 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	8 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
LPCM	- （※）	● LPCM	サンプリング周波数	8 kHz～44.1 kHz
			量子化ビット数	16 bit、20 bit、24 bit
			チャンネル数	2 ch
WAV	.wav	● LPCM	サンプリング周波数	8 kHz～44.1 kHz
			量子化ビット数	16 bit、20 bit、24 bit
			チャンネル数	2 ch
WMA	.wma	● WMA2/7/8/9	サンプリング周波数	8 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	5 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
AAC	.m4a .aac .3gp .3g2	● MPEG-4 AAC LC ● MPEG-4 HE AAC (aacPlus v1/2)	サンプリング周波数	32 kHz～48 kHz
			量子化ビット数	16 bit
			チャンネル数	2 ch
			ビットレート	16 kbps～320 kbps
			VBR/CBR	対応/対応
FLAC	.flac	● FLAC	サンプリング周波数	8 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
			量子化ビット数	8 bit、16 bit
			チャンネル数	2 ch（8 bitのモノラル音声には対応していません。）
			ビットレート	-
			VBR/CBR	非対応/対応

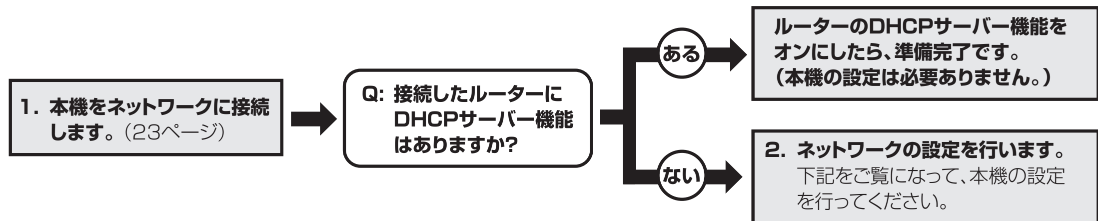
MPEG Layer-3音声復号化技術は、Fraunhofer IISおよびThomson multimediaからライセンスされています。

（※）USBメモリーに保存されたLPCMファイルは再生できません。サーバーから出力された場合にのみ対応しています。
サーバーによっては、本機が対応していないフォーマットをLPCMに変換（トランスコード）して出力できるものがあります。詳しくはサーバーの取扱説明書をご覧ください。

Windows Media DRMについて

Windows Media デジタル著作権管理(DRM)(以下、WMDRM)は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。ホームメディアギャラリーのネットワークオーディオではWMDRM 10 for networked devicesにもとづいて機能します。WMDRM で保護されたコンテンツはWMDRM の機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。
コンテンツ所有者は、著作権を含む知的所有権を保護するためにWindows Media デジタル著作権管理テクノロジ(WMDRM)を使用します。本製品は、WMDRM で保護されたコンテンツにアクセスするためにWMDRM ソフトウェアを使用します。WMDRM ソフトウェアがコンテンツの保護に失敗した場合、コンテンツ所有者は保護されたコンテンツの再生やコピーのためにWMDRM を使用しているソフトウェアの能力を無効にするよう、マイクロソフトに要請することがあります。
無効化は、保護されていないコンテンツには影響を与えません。あなたが保護されたコンテンツに対するライセンスをダウンロードするとき、マイクロソフトがそのライセンスと一緒に失効リストを含ませることがあることに同意してください。コンテンツ所有者は、それらのコンテンツのアクセスに対してWMDRM をアップグレードすることを要求することがあります。もしアップグレードを断るなら、あなたはアップグレードを要求するコンテンツへアクセスすることができなくなります。
本製品は、米国Microsoft Corporation の知的所有権により保護されています。米国Microsoft Corporation の許可を得ずにこの技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。

ネットワークの設定を行う
(ルーターにDHCP サーバー機能がない場合)



本機のLAN端子と接続したルーターがブロードバンドルーター（DHCPサーバー機能内蔵）の場合、DHCPサーバー機能をオンにするだけで、ネットワークの設定を行う必要はありません。
DHCPサーバー機能がないネットワークに接続しているときのみ以下のネットワークの設定を行います。設定の際はプロバイダー、またはネットワーク管理者からの設定値を確認してから設定してください。ネットワーク上の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

IP Address:
入力するIPアドレスは下記の範囲で設定してください。下記以外のIPアドレスではネットワーク上のファイルやインターネットラジオを再生することができません。
CLASS A: 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
CLASS B: 172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
CLASS C: 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

Subnet Mask:
xDSLモデムやターミナルアダプタを直接本機に接続している場合は、プロバイダーから書面などで通知されたサブネットマスクを入力します。
通常は255.255.255.0 が入ります。

Gateway IP:
ゲートウェイ（ルーター）に接続している場合は、そのIP アドレスを入力します。

DNS Server Preferred/DNS Server Alternate:
プロバイダーから書面などで通知されたDNSサーバーアドレスが1 つの場合は、「DNS Server Preferred」に入力してください。2 つ以上の場合は、もう1つを「DNS Server Alternate」に入力してください。

Proxy Hostname/Proxy Port:
インターネットにプロキシサーバーを経由して接続する際に設定します。「Proxy Hostname」にはプロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力してください。「Proxy Port」にはプロキシサーバーのポート番号を入力してください。

☑ メモ

- Proxy Hostname（手順18）またはプロキシポート（手順20）の入力中に数値や文字を間違えて入力したときは、CLEARボタンを押してカーソルの前の文字を消去することができます。
- 一つ前の設定画面に戻るには、RETURN ボタンを押します。「Cancel Key Editing Lose Changes?」と表示されたら、⇨ボタンを押して前の設定画面に戻ることができます（直前に設定した内容は破棄されます）。⇦ボタンを押すと、現在の設定画面に戻ります。

1. HOME MEDIA GALLERY

HOME MEDIA GALLERYボタンを押す

ホームメディアギャラリーのトップメニューに切り換わります （ネットワークに接続するため、多少時間がかかることがあります）。

2. ⇧ ⇩ ボタンで "Setup" を選んで、⇨ ボタンを押す

Favorites
Setup
Recently Pla
4/5

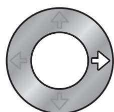
3. ⇧ ⇩ ボタンで "Network Setup" を選んで、ENTER ボタンを押す

ENTER

Setup
・Information
⊙Network Setup

Network Connection 画面になります。

4. **表示されているネットワークの状況を確認して、⇨ ボタンを押す**

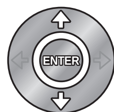


Network Found：ネットワーク上の機器に接続している状況です。
No Network Found：ネットワーク上の機器に接続していない状況です。

```
Network Connection
 Network Found
```

Network IP Settings 画面になります。

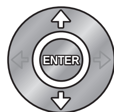
5. **⇧ ⇩ ボタンで "Static IP Address" を選んで、ENTER ボタンを押す**




```
Network IP Settings
 ·Automatic (DHCP) ↑
 ◉Static IP Address↓
```

IP Address(IPアドレス)の表示画面になります。
「Automatic (DHCP)」を選択した場合はネットワークを自動で設定します（この場合、手順16 に進みます）。

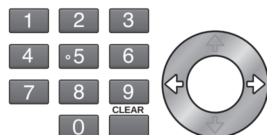
6. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**



IP アドレスの入力画面になります。

7. **数字ボタンで IP アドレスを入力する**

⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力すると、Subnet Mask(サブネットマスク) の表示画面になります。




```
Edit IP address
 192.168.000.002
```

8. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

サブネットマスクの入力画面になります。

9. **数字ボタンでサブネットマスクを入力する**

⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力すると、Gateway IP(デフォルトゲートウェイ) の表示画面になります。

```
Edit Subnet Mask
 255.255.255.000
```

10. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

デフォルトゲートウェイの入力画面になります。

11. **数字ボタンでゲートウェイを入力する**

⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力すると、DNS Server Preferred の表示画面になります。

```
Edit Gateway IP
 192.168.000.001
```

12. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

DNS Server Preferred の入力画面になります。

13. **数字ボタンでDNSサーバーアドレスを入力する**

⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力すると、DNS Server Alternateの表示画面になります。

```
Edit DNS Preferred
 192.168.000.001
```

14. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

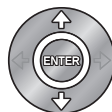
DNS Server Alternate の入力画面になります。

15. **数字ボタンでもう 1 つの DNS サーバーアドレスを入力する**

DNS サーバーアドレスが 1 つのときは、入力する必要はありません。
⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力すると、Proxy Server（プロキシサーバー）の設定画面になります。

```
Edit DNS Alternate
 192.168.000.001
```

16. **⇧ ⇩ ボタンでプロキシサーバーを利用する (Yes)/ しない (No) を選んで、ENTER ボタンを押す**



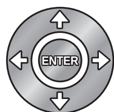

```
Enable Proxy Server
 ◉No               ↑
 ·Yes              ↓
```

No を選んだときは手順21 へ進んでください。
Yes を選んだときは手順17へ進んでください。Proxy Hostnameの表示画面になります。

17. **⇧ ⇩ ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

Proxy Hostname の入力画面になります。

18.



プロキシサーバーのアドレスまたはドメイン名を入力する

⇧ ⇩ボタンで文字を入力して、⇦ ⇨ボタンでカーソルを移動させせます。

- アドレスまたはドメイン名は 127 文字まで入力できます。

```
Edit Proxy Hostname
 Proxy Pioneer
```

最後の文字の入力が終了したら、ENTER ボタンを押します。
Proxy Port（プロキシポート）の表示画面になります。

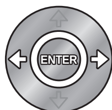
19. ⇧ ⇩ **ボタンで "Change" を選んで、ENTER ボタンを押す**

プロキシポートの入力画面になります。

20. **数字ボタンでプロキシサーバーのポート番号を入力する**

⇦ ⇨ ボタンでカーソルを移動させることができます。最後の数字を入力したら ENTER ボタンを押します。






```
Edit Proxy Port
 8080
```

21.



ENTER ボタンを押してネットワークの設定を終了する

```
Setup Complete
 Settings OK?
```

「Applying Settings...」と表示されたあとに、トップメニューに戻ります。

22. STANDBY/ON



⏻STANDBY/ON ボタンを押して本機の電源をスタンバイにする

本機の電源をオンにするには、もう一度 ⏻STANDBY/ON ボタンを押してください。

☑ 注意

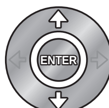
- DHCP サーバー機能のないネットワーク環境で、ネットワーク環境を変更したときは、本機のネットワークの設定を再度行ってください。

ネットワークの設定を確認する

本機に設定されている「MAC Address」、「I P Address」、「Gateway IP」、「Proxy Server」、「Subnet Mask」や「Firmware Version」（本機のホームメディアギャラリー用ファームウェアのバージョン）を確認することができます。

1. **36ページの手順 1 〜2を行って、セットアップ画面に進む**

2.

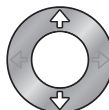


⇧ ⇩ボタンで"Information"を選んで、ENTER ボタンを押す

```
Setup
 ◎Information     ↑
 ・Network Setup   ↓
```

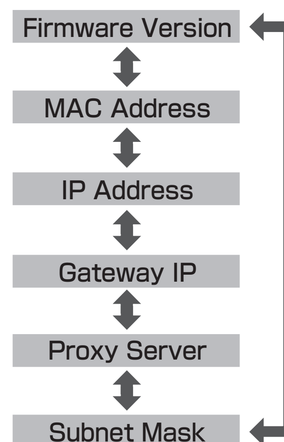
本機のホームメディアギャラリー用ファームウェアのバージョン確認画面になります。

3.



ネットワークの設定を確認する

⇧ ⇩ ボタンで表示を切り換えます。ボタンを押すたびに、以下の設定表示が切り換わります。



第 7 章

外部機器を接続する

本機背面のLINE IN 1または2端子やPHONO端子、および前面のF.AUDIO IN端子を使用して、外部機器の音声を本機で聞くことができます。
また、LINE OUT端子を使用して、本機で再生している音声を外部機器で録音することができます。
別売りのBLUETOOTHアダプターを使用すれば、*Bluetooth*®機能搭載機器の音楽をワイヤレスで楽しめます。

- iPodやUSBメモリーの音声を聞く場合は、「ホームメディアギャラリーを聞く」(22ページ)をご覧ください。
- 外部機器を接続するときは、それぞれの機器の取扱説明書もご覧ください。



- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。

BLUETOOTHアダプターを使用してワイヤレスで音楽を楽しむ

別売りのBLUETOOTHアダプター AS-BT100を本機に接続するだけで、*Bluetooth*機能搭載機器（携帯電話、デジタル音楽プレーヤーなど）の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。市販の*Bluetooth* オーディオ送信機を使って、*Bluetooth*機能非搭載機器の音楽を楽しむこともできます。詳しくは、BLUETOOTHアダプターや*Bluetooth*機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機で*Bluetooth*機能搭載機器の音楽を再生するには、*Bluetooth*機能搭載機器がプロファイル：A2DPに対応している必要があります。

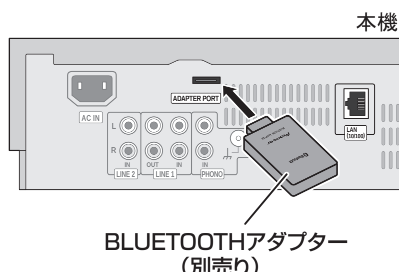


Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パイオニア株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有権者が所有する財産です。

BLUETOOTH アダプターを接続する

1. 本機のADAPTER PORT端子に、別売りのBLUETOOTHアダプター AS-BT100を接続する

BLUETOOTH アダプターは、ロゴが印刷されている面を上にして接続します。



BLUETOOTHアダプター
（別売り）

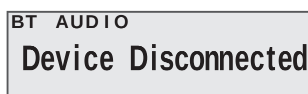
2. STANDBY/ON **⏻STANDBY/ON ボタンを押して本機の電源をオンにする**



3. INPUT **INPUT ボタンを繰り返し押して BT AUDIO 入力を選ぶ**



BT AUDIO入力を選んだとき、ペアリング（下記）を行っていない場合は、「Device Disconnected」と表示されます。



- BLUETOOTHアダプターをADAPTER PORT 端子に接続していない場合は、BT AUDIO 入力に切り換えることはできません。

BLUETOOTH アダプターをペアリングする（初期登録）

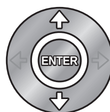
BLUETOOTHアダプターを使用して*Bluetooth*機能搭載機器の音楽を楽しむために、ペアリングを行う必要があります。最初にBLUETOOTHアダプターを使用するとき、またはペアリングデータを消去したときは、ペアリングを行ってください。
ペアリングは*Bluetooth*無線技術を利用した通信が可能になるようにするために必要なステップです。
詳しくは、*Bluetooth*機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

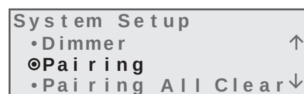
1. SETUP **SETUPボタンを押す**



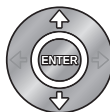
システムセットアップ画面になります。

2. ⇧ ⇩ ボタンで "Pairing" を選んで、ENTER ボタンを押す



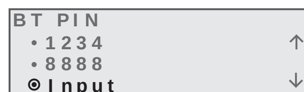


3. ⇧ ⇩ ボタンで PIN コードを選んで、ENTER ボタンを押す





PIN コードは0000/1234/8888 の中から、ペアリングする*Bluetooth*機能搭載機器と同じコードを選びます。他のPINコードを設定する必要がある場合は、Inputを選んでPINコードを入力してください。



ペアリング待機状態になり、「Pairing」と点滅表示します。

4. ペアリングしたい *Bluetooth* 機能搭載機器の電源をオンにして、ペアリング可能な状態にする

Bluetooth 機能搭載機器は、本機の近くに置いてください。
- *Bluetooth* 機能搭載機器のペアリング可能な状態や接続操作などについては、*Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。
- *Bluetooth* 機能搭載機器が BLUETOOTH アダプターを認識すると、*Bluetooth* 機能搭載機器の表示部に BLUETOOTH アダプターの名称「AS-BT100」が表示されます。認識した機器の一覧が表示できない *Bluetooth* 機能搭載機器や、画面の無い *Bluetooth* 機能搭載機器の場合は表示されません。
- *Bluetooth* 機能搭載機器で PIN コード（パスキー）の入力が求められた場合は、上記手順 3 で選んだ PIN コードを入力してください。

5. *Bluetooth* 機能搭載機器がペアリングされたことを確認する

ペアリングが終了すると、「Device Connected」と表示されてから、*Bluetooth* 機能搭載機器の名称が表示されます。
- *Bluetooth* 機能搭載機器によっては、ペアリングが終了すると「Device Disconnected」と表示されることがあります。その場合は、*Bluetooth* 機能搭載機器側での接続操作が必要です。
- ペアリングが正しく行われなかった場合は、もう一度手順 1 から操作してみてください。（設置状況により、ペアリングが正しく行われないことがあります。）

☑ **メモ**

- ペアリングは、BLUETOOTHアダプターおよび*Bluetooth*機能搭載機器を使用する際に、はじめに1回だけ行います。
- *Bluetooth*を利用した通信を行うために、ペアリングは本機と*Bluetooth*機能搭載機器の両方で行う必要があります。
- PIN コードの選択画面や PIN コード入力画面では、1分以内に設定を行ってください。1分経過すると「Device Disconnected」と表示されます。

Bluetooth 機能搭載機器の音楽を本機で聞く

1. INPUT

INPUT ボタンを繰り返し押して BT AUDIO入力を選ぶ

- BLUETOOTH アダプターを ADAPTER PORT 端子に接続していない場合は、BT AUDIO 入力に切り換えることはできません。

2. ***Bluetooth* 機能搭載機器と BLUETOOTH アダプターを *Bluetooth* 接続する**

Bluetooth 機能搭載機器側から BLUETOOTH アダプターに対して接続操作を行います。
- 接続操作については、お使いの *Bluetooth* 機能搭載機器の取扱説明書をご覧ください。

3. ***Bluetooth* 機能搭載機器の音楽を再生する**

本機のリモコンで、以下の*Bluetooth*機能搭載機器の操作が可能です。

- ○ ▶ **再生する**
- II **再生を一時停止する**
  再生を再開するには▶ボタンを押します。
- ■ **再生を停止する**
- I◀◀ ▶▶I **再生中に頭出し（スキップ）する**
- ◀◀ ▶▶ **再生中に早送り（早戻し）する**

- 本機上面の▶/II（再生/一時停止）、■（停止）、I◀◀/▶▶I（頭出し）ボタンも使用できます。

☑ **メモ**

- *Bluetooth*接続後に本機の入力を切り換えると、*Bluetooth*接続は解除されます。
- *Bluetooth*接続を解除したり、何らかの要因で*Bluetooth*接続が解除された場合は、*Bluetooth*機能搭載機器側からもう一度接続操作を行ってください。
- 本機のリモコンで操作するには、*Bluetooth*機能搭載機器がプロファイル：AVRCPに対応している必要があります。
- すべての*Bluetooth*機能搭載機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- *Bluetooth*機能搭載機器によっては異なる動作をする場合があります。

ペアリング情報を消去する

本機のペアリング情報を消去します。消去すると、すべてのペアリングの設定をもう一度行う必要があります。

1. INPUT

INPUT ボタンを繰り返し押して BT AUDIO入力を選ぶ

「Device Disconnected」と表示されます。

BT AUDIO
Device Disconnected

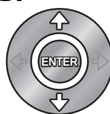
- BLUETOOTHアダプターをADAPTER PORT 端子に接続していない場合は、BT AUDIO 入力に切り換えることはできません。

2. SETUP

SETUP ボタンを押す

システムセットアップ画面になります。

3.



⇧ ⇩ ボタンで "Pairing All Clear" を選んで、ENTER ボタンを押す

System Setup
•Dimmer ↑
•Pairing
⊙Pairing All Clear ↓

4.



もう一度、ENTER ボタンを押す

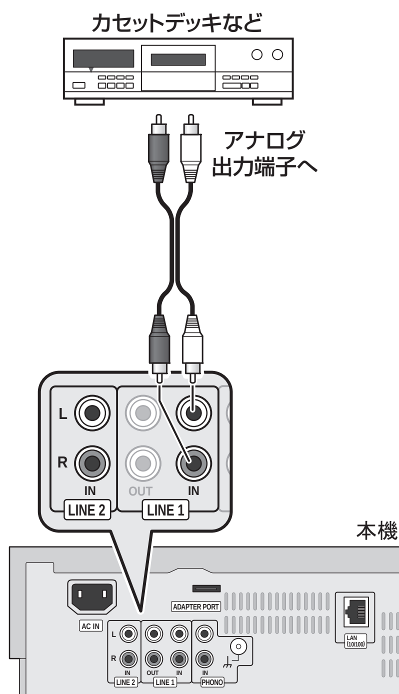
BT AUDIO
Delete?

「Deleting」と表示されてから、もとの表示に戻ります。

他機器の音声を聞く

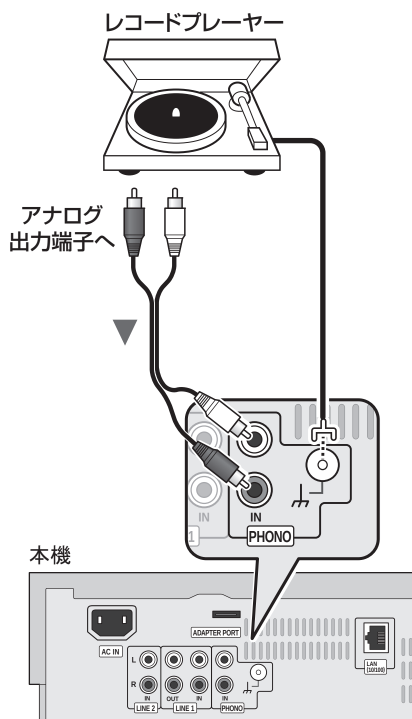
背面の LINE IN 端子で接続する

カセットデッキやMDプレーヤーなどのアナログ出力端子のある機器を接続して本機で聞くことができます。
本機のLINE IN1またはLINE IN2端子と外部機器のアナログ出力端子を、市販のオーディオコードで接続します。



背面の PHONO 端子にレコードプレーヤーを接続する

本機のPHONO IN端子とレコードプレーヤーの出力端子を、市販のオーディオコードで接続します。
レコードプレーヤーにアース端子が付いている場合は、必ず⏚端子に接続してください。



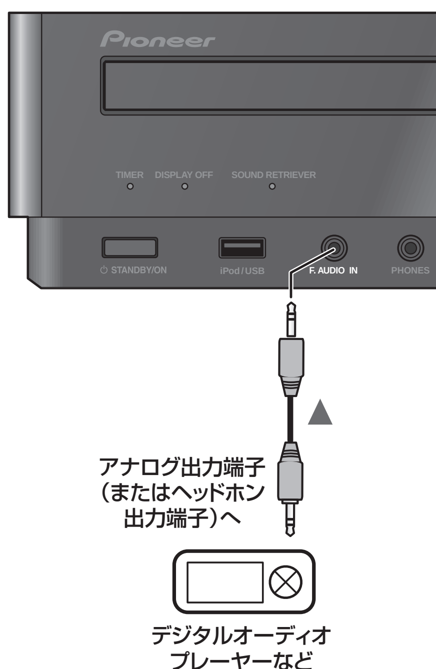
☑ 注意

- レコードプレーヤーは MM 型カートリッジタイプをご使用ください。
- PHONO 端子にレコードプレーヤー以外の機器、またはイコライザー内蔵レコードプレーヤーを接続しないでください。大音量を出力し、スピーカーなどを破損する恐れがあります。
- イコライザー内蔵レコードプレーヤーを本機に接続する場合は、LINE IN 1または2端子に接続してください。

前面の FRONT AUDIO IN 端子で接続する

デジタルオーディオプレーヤーやポータブルCDプレーヤーなどの音声を本機で聞くことができます。
本機前面のF.AUDIO IN端子と接続機器のアナログ出力端子（またはヘッドホン出力端子）を、市販のステレオミニプラグ付きケーブルで接続します。

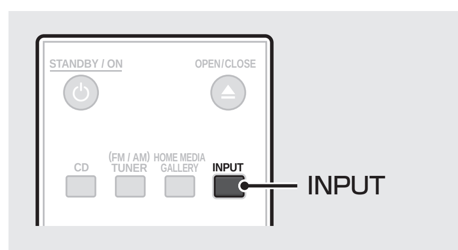
- ケーブルを接続すると、自動的に本機の入力がFRONT AUDIO INに切り換わります。（目覚ましタイマーで電源オンしている場合は除きます。）



☑ メモ

- 外部機器のヘッドホン端子と接続しているときは、外部機器の音量調節によって本機のスピーカーから聞こえる音量が変わります。本機のボリュームを下げても音が歪む場合は、外部機器の音量を調節してください。

外部機器の音声を本機で聞くには



- INPUT

INPUT ボタンを繰り返し押して、聞きたい入力を選ぶ

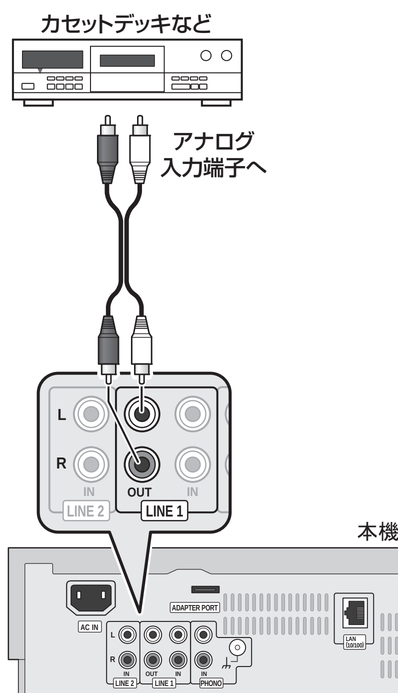
押すたびにBT AUDIO、LINE 1、LINE 2、PHONO、FRONT AUDIO INが切り換わります。

☑ メモ

- BT AUDIO入力は、BLUETOOTHアダプターを接続している時のみ選択可能です。

本機の音声を外部機器で録音する

カセットデッキやCDレコーダーなどのアナログ入力端子がある外部録音機器を市販のオーディオコードで接続して、本機で再生している音声を録音することができます。



☑ 注意

- LINE OUT端子から出力される音声には、音質の設定(44ページ)は反映されません。

第8章

音質の設定

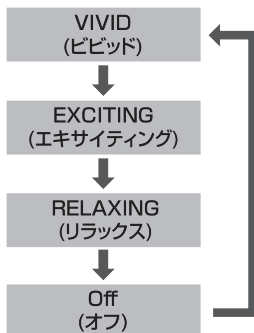
サウンドモードの切り換え

サウンドに効果を加えて、音楽を楽しむことができます。

- 

音楽を再生中にSOUNDボタンを押す

ボタンを押すたびに、以下のように設定が変わります。



VIVID (ビビッド):
メリハリのある生き生きとしたサウンド設定です。
EXCITING (エキサイティング):
刺激的で臨場感のあるサウンド設定です。
RELAXING (リラックス):
穏やかでリラックスできるサウンド設定です。
Off (オフ):
元のサウンドをそのまま再生します。

☑ メモ

- SACDを再生しているときやハイサンプリングモードで聞いているときは、サウンドモードを切り換えることはできません。
- サウンドモードをオフ以外にすると、サウンドレトリバー機能とデジタルノイズリダクション機能はオフになります。
- サウンドモードの設定は入力（ファンクション）ごとに記憶されます。

低音/高音の音質調整

低音(BASS)と高音(TREBLE)の音質をお好みで調整することができます。

- 



BASS＋/－ボタンで低音レベルを、TREBLE＋/－ボタンで高音レベルを調整する

高音、低音とも+6～–6の範囲で調整できます。

小さな音でも聞き取りやすくする

再生している音量に合わせて低域･高域のレベルを自動的に調整して、小さな音でも音楽を聞き取りやすくします。

- 

LOUDNESSボタンを押す

押すたびに、オンとオフが切り換わります。

圧縮音声を高音質化する（サウンドレトリバー）

WMA、MP3、MPEG-4 AACなどの圧縮音声を再生するときに効果的です。圧縮音声は圧縮処理される際、人が感じ取りにくい部分の音声が削除されてしまいます。サウンドレトリバー機能では、削除されてしまった部分の音声をDSP処理によって補い、音の密度感、抑揚感を向上させて再生します。

- 

S.RETRIEVERボタンを押す

押すたびに、オンとオフが切り換わります。オンの時は本体のSOUND RETRIEVERインジケーターが点灯します。

☑ メモ

- SACDを再生しているときやハイサンプリングモードで聞いているときは、サウンドレトリバー機能を切り換えることはできません。
- サウンドレトリバー機能をオンにすると、サウンドモードとデジタルノイズリダクション機能はオフになります。
- サウンドレトリバー機能の設定は、入力（ファンクション）ごとに記憶されます。
- お買い上げ時の設定は、ホームメディアギャラリーやFRONT AUDIO IN、BT AUDIOの時はサウンドレトリバー機能がオンになっています。

デジタルノイズリダクション

外部入力機器やラジオのノイズを低減します。

● DIGITAL NR  **DIGITAL NRボタンを押す**

押すたびにオンとオフが切り換わります。

☑ **メモ**

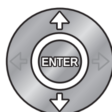
- BT AUDIO、LINE 1、LINE 2、PHONO、TUNER以外の入力（ファンクション）ではデジタルノイズリダクション機能を切り換えることはできません。
- デジタルノイズリダクション機能をオンにすると、サウンドモードとサウンドレトリバー機能はオフになります。
- デジタルノイズリダクション機能の設定は、入力（ファンクション）ごとに記憶されます。

ハイサンプリングモードで聞く

アップコンバート機能により、デジタル音源のサンプリング周波数を88.2 kHzに変換して出力します。音場の広がりや厚み、やわらかさが増し、再生ソースによってはさらに高音質で聞くことができます。

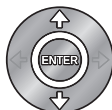
1. SETUP  **SETUPボタンを押す**

システムセットアップ画面になります。

2. 

⇧ ⇩ ボタンで "Hi-Sampling" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
System Setup
 •Dimmer           ↑
 ⊙Hi-Sampling
                   ↓
```

3. 

⇧ ⇩ ボタンで "Mode On" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
Hi-Sampling
 ⊙Mode On          ↑
 •Mode Off
                   ↓
```

再びオフにする場合は"Mode Off"にします。

☑ **メモ**

- ハイサンプリングモードをオンにすると、サウンドモードとサウンドレトリバー機能、デジタルノイズリダクション機能の操作ができなくなります。
- ハイサンプリングモードは、SACD/CD（SACD再生時は除く）およびホームメディアギャラリーを選択しているときに有効です。

音質設定の確認

さまざまな音質設定の状態を確認することができます。

● STATUS  **STATUSボタンを押す**

設定の状態が表示されます。

```
      Sound . . . VIVID
       Bass . . . +2
     Treble . . . +2
   Loudness . . . On
S.Retriever . . . Off
 Digital NR . . . Off
```

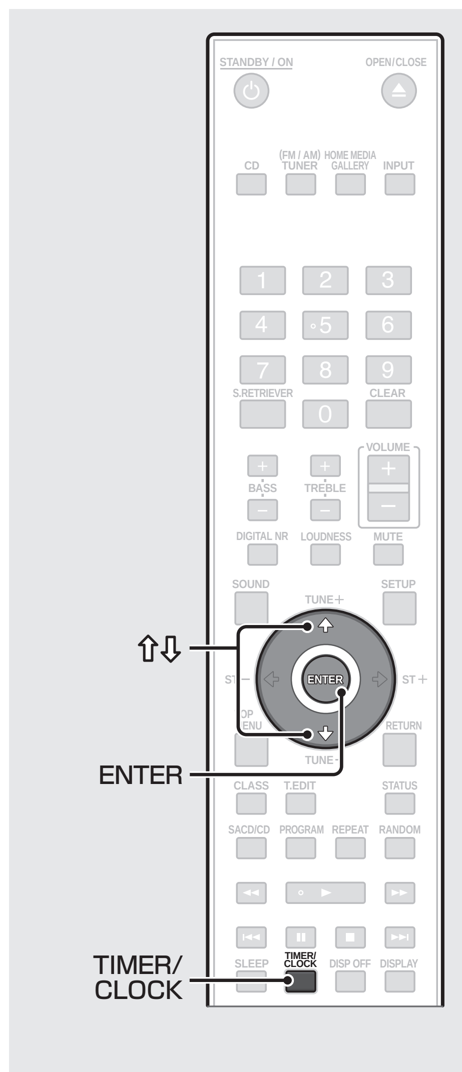
もう一度STATUSボタンを押すか、しばらく待つと元の画面に戻ります。

第 9 章

タイマー機能を使う

時計を合わせる

時計を合わせていないと、タイマーの設定や動作を行うことができません。
時計表示は12時間表示と24時間表示を切り換えることができます。(51ページ)



☑ メモ

- 時計を確認するには、TIMER/CLOCK ボタンを押します。表示部に5秒間表示されたあと、元の表示に戻ります。時計を合わせていない場合は、時計の確認はできません。
- 停電したり、電源コードを抜くと、時計合わせが無効になります。再度時計合わせを行ってください。

例）月曜日の午後6時54分に合わせる場合

1. TIMER/CLOCK

TIMER/CLOCKボタンを押す

現在の曜日と時刻が表示されます。

Monday　6:51 PM

はじめて時計を合わせる場合は以下の画面になります。"Clock Adjust"が選択されいることを確認して、ENTERボタンを押して手順4に進んでください。

Timer Setup
⊙Clock Adjust

2. TIMER/CLOCK

もう一度TIMER/CLOCKボタンを押す

タイマーセットアップ画面になります。

3. ENTER

⇧ ⇩ ボタンで "Clock Adjust" を選んで、ENTER ボタンを押す

Timer Setup
•Wake-up
⊙Clock Adjust

4. ENTER

⇧ ⇩ ボタンで「曜日」を合わせて、ENTER ボタンを押す

例の場合は、"Monday"にします。

Clock Adjust
Monday　0:00 AM

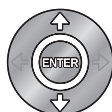
5. ENTER

⇧ ⇩ ボタンで「時」を合わせて、ENTER ボタンを押す

例の場合は、"6 PM"にします。

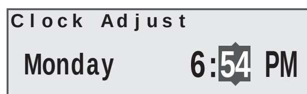
Clock Adjust
Monday　6:00 PM

6.



⇧ ⇩ ボタンで「分」を合わせて、ENTER ボタンを押す

例の場合は、"54"にします。



「分」が入力され、時計の設定が終了しました。

目覚ましタイマー

指定した曜日の同じ時刻に再生を開始/終了することができます。たとえば、お気に入りのCDを目覚まし時計の代わりに再生することができます。

例）月曜日と木曜日の午前7時40分に再生を開始し、午前8時15分に再生が終わるようにタイマーをセットする

1. 再生したい入力（ファンクション）に切り換えて、再生の準備をする



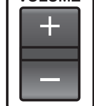
CD：
CD をトレイにセットしておきます。

TUNER：
聞きたい放送局を選んでおきます。

INPUT：
LINE 1 または LINE 2 を選択し、LINE IN 1 または 2 端子に接続した機器の準備をしておきます。

- ホームメディアギャラリー、PHONO、FRONT AUDIO IN、BT AUDIOでは目覚ましタイマーは使用できません。

2.



音量を調整する

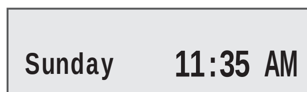
調整した音量で再生します。

3.



TIMER/CLOCK ボタンを押す

現在の曜日と時刻が表示されます。



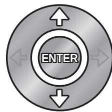
4.



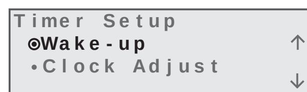
もう一度TIMER/CLOCKボタンを押す

タイマーセットアップ画面になります。

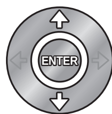
5.



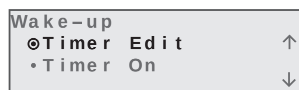
⇧ ⇩ ボタンで "Wake-up" を選んで、ENTER ボタンを押す



6.

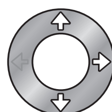


⇧ ⇩ボタンで"Timer Edit"を選んで、ENTER ボタンを押す



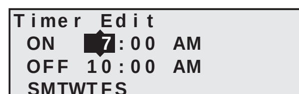
タイマー編集画面になります。

7.

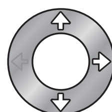


⇧ ⇩ ボタンで開始時刻の「時」を合わせて、⇨ ボタンを押す

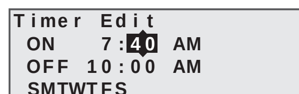
ENTERボタンを押すと、タイマー編集画面を終了し、手順12へ進みます。（手順8〜11も同様です。）



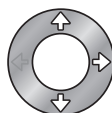
8.



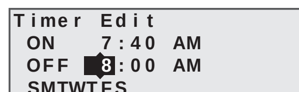
⇧ ⇩ ボタンで開始時刻の「分」を合わせて、⇨ ボタンを押す



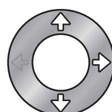
9.



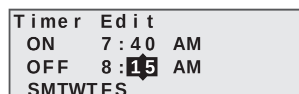
⇧ ⇩ ボタンで終了時刻の「時」を合わせて、⇨ ボタンを押す



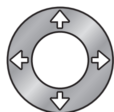
10.



⇧ ⇩ ボタンで終了時刻の「分」を合わせて、⇨ ボタンを押す



11.



⇦ ⇨ ボタンで「曜日」を合わせて、⇧ ⇩ ボタンで設定する / しないを選ぶ

設定しない曜日は「＊」で表示されます。

```
Timer Edit
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**  Saturday
```

12.



ENTER ボタンを押す

設定内容の確認画面が表示されます。

```
Timer Edit
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**    OK?
```

13.



もう一度 ENTER ボタンを押す

設定が確定し、設定内容が表示されます。

```
Timer Check
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**
```



```
Timer Check
 FM  79.50MHz
 Volume 12
```

本体の緑色のTIMERインジケーターが点灯します。

14.

STANDBY/ON



⏻STANDBY/ON ボタンを押して電源をスタンバイにする

開始時刻になると、自動的に電源がオンになり、再生が始まります。再生中は緑色のTIMERインジケーターが点滅します。

☑ 注意

- 停電したり電源コードを抜くと、時計の設定が消えてしまいます。このときタイマーの設定も解除されるので、時計を合わせてからタイマーを設定し直してください。
- 開始時刻と終了時刻を同じには設定できません。

☑ メモ

- 再生する入力 (ファンクション) や音量などの設定は、設定したすべての曜日で共通となります。

目覚ましタイマーを確認する

本機の電源がスタンバイのときでも目覚ましタイマーの設定内容を確認できます。



- **電源がスタンバイのときに、TIMER/CLOCKボタンを押す**

タイマーの設定内容が表示されます。

```
Timer Check
 ON    7:40 AM
 OFF   8:15 AM
 *M**T**
```



```
Timer Check
 FM  79.50MHz
 Volume 12
```

表示されたあとは、再び電源はスタンバイになります。

目覚ましタイマーをオン/オフする

目覚ましタイマーの設定は本機に記憶されます。目覚ましタイマーを再びオンにすると、前に設定した内容でタイマー動作をします。

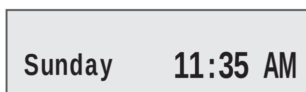
1. 

⏻STANDBY/ON を押して、電源をオンにする

2. 

TIMER/CLOCK ボタンを押す

現在の曜日と時刻が表示されます。

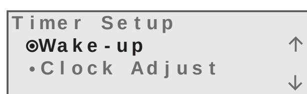


3. 

もう一度TIMER/CLOCKボタンを押す

タイマーセットアップ画面になります。

4. ⇧ ⇩ ボタンで "Wake-up" を選んで、ENTER ボタンを押す

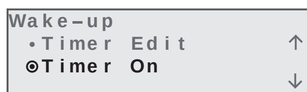


5. タイマーをオフにする場合：
⇧ ⇩ ボタンで "Timer Off" を選んで、ENTER ボタンを押す



タイマーがオフになり、本体の緑色のTIMERインジケーターが消灯します。

タイマーをオンにする場合：
⇧ ⇩ ボタンで"Timer On"を選んで、ENTERボタンを押す



タイマーがセットされ、タイマー確認画面になります。
本体の緑色のTIMERインジケーターが点灯します。

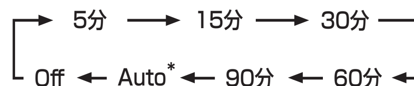
スリープタイマー

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。音楽を聞きながら眠ったりするときに便利な機能です。

• 

SLEEP ボタンを押してタイマー時間を設定する

ボタンを押すたびに以下のようにタイマー時間が変わります。



＊スリープオート（Sleep Auto）
再生が終了して本機が停止してから約1分後に自動的に電源がオフになります。(SACDおよびCDを再生中のみ選択可能です。)
スリープタイマーを設定するとオレンジ色のTIMERインジケーターが点灯します。

☑ **メモ**

- スリープタイマー設定後に SLEEP ボタンを押すと、残り時間が確認できます。
- スリープタイマーを設定すると、表示部が暗くなります。
- 目覚ましタイマーで電源オンしているときは、スリープタイマーは使えません。
- リピート再生している CD や SACD などでは、スリープオートの設定はできません。

第 10 章

各種設定

表示部を消灯する

表示部の各種表示をすべて消すことができます。

- DISP OFF **DISP OFFボタンを押す**
  表示が消灯し、DISPLAY OFFインジケーターが点灯します。
  もう一度DISP OFFボタンを押すと、DISPLAY OFFインジケーターが消灯し、表示が元に戻ります。

☑ **メモ**

- 表示がオフの場合でも、本機を操作したときは一時的に表示します。

表示部の明るさを変える

お好みに応じて、表示部の明るさを3段階に変えることができます。また、"Auto"に設定すると、本機を操作したときだけ明るく表示します。

1. SETUP **SETUPボタンを押す**

システムセットアップ画面になります。

2. **⇧ ⇩ ボタンで "Dimmer" を選んで、ENTER ボタンを押す**

```
System Setup
 ⊙Dimmer          ↑
 •Hi-Sampling
                  ↓
```

3. **⇧ ⇩ ボタンで明るさを選んで、ENTER ボタンを押す**

```
Dimmer
 ⊙Auto            ↑
 •Level 3
 •Level 2         ↓
```

☑ **メモ**

- スリープタイマーが設定されているときは、ここでの設定にかかわらず、表示部の明るさはLevel1になります。

表示反転機能をオフにする

表示反転機能は、何も操作をしなかったときに、表示が約3分間隔で自動的に反転する機能です。
お買い上げ時はオンに設定されていますが、表示反転機能をオフにして、反転させないようにすることができます。

1. STANDBY/ON **⏻STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイにする**

2. SETUP **SETUP ボタンを押す**

システムセットアップ画面になります。

3. **⇧ ⇩ ボタンで "Reverse Display" を選んで、ENTER ボタンを押す**

```
System Setup
 •Hour Display      ↑
 ⊙Reverse Display
 •Volume Step       ↓
```

4. **⇧ ⇩ ボタンで "Mode Off" を選ぶ**

```
Reverse Display
 •Mode On           ↑
 ⊙Mode Off
                    ↓
```

再び反転表示をさせる場合は"Mode On"にします。

5. ENTER **ENTER ボタンを押す**

電源がスタンバイになります。

時計の表示モードを変える

時計の表示を、12時間表示と24時間表示で切り換えることができます。

1. STANDBY/ON ⏻STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイにする

2. SETUP SETUP ボタンを押す

システムセットアップ画面になります。

3. ⇧ ⇩ ボタンで "Hour Display" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
System Setup
 ⊙Hour Display         ↑
 •Reverse Display
 •Volume Step          ↓
```

4. ⇧ ⇩ ボタンで "12H" または "24H" を選ぶ

```
Hour Display
 ⊙12H                  ↑
 •24H
                       ↓
```

5. ENTER ボタンを押す

電源がスタンバイになります。

ボリュームの設定を変える

最小音量から最大音量までのボリュームの変化ステップ量を、50ステップと80ステップで切り換えることができます。お買い上げ時は50ステップに設定されています。

1. STANDBY/ON ⏻STANDBY/ONボタンを押して電源をスタンバイにする

2. SETUP SETUP ボタンを押す

システムセットアップ画面になります。

3. ⇧ ⇩ ボタンで "Volume Step" を選んで、ENTER ボタンを押す

```
System Setup
 •Hour Display         ↑
 •Reverse Dislay
 ⊙Volume Step          ↓
```

4. ⇧ ⇩ ボタンで "80 Step" または "50 Step" を選ぶ

```
Volume Step
 ⊙80 Step              ↑
 •50 Step
                       ↓
```

5. ENTER ボタンを押す

電源がスタンバイになります。

☑ メモ

- 設定を変更すると、ボリューム値は"0"にリセットされます。

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻す

1. STANDBY/ON 電源をオンにする

2. 本体の FUNCTION ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ON ボタンを 3 秒間押し続ける

電源がスタンバイになります。

3. STANDBY/ON もう一度電源をオンにする

初期化され、設定した内容がすべてお買い上げ時の状態に戻ります。

☑ 注意

- 初期化すると、記憶していたすべての設定内容が消去されます。初期化するときは十分にご注意ください。
- 初期化するときは、USBメモリーやiPod、BLUETOOTHアダプターを取り外してください。

第 11 章

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器などもあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因/対策	参照ページ
全般		
音が出ない。	● 電源コードが外れていませんか？電源コードを正しく接続してください。 ● すべてのコードが完全に接続されていますか？ 正しく接続してください。 ● スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、スピーカー端子に接続し直してください。 ● ミューティング状態になっていませんか？リモコンのMUTEボタンを押して、ミューティングを解除してください。 ● 音量がゼロになっていませんか？音量を調整してください。 ● ディスクが汚れていませんか？ディスクをクリーニングしてください。 ● ヘッドホンが挿入されていませんか?ヘッドホンを抜いてください。	10ページ 6〜10ページ 6ページ 13ページ 14ページ 65ページ 11ページ
スピーカーからノイズが出る。	● 本機の近くで携帯電話を使用すると、ノイズが出ることがあります。本機から離れてご使用ください。	
設定した内容が消えてしまった。	● 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず⏻ STANDBY/ONボタンを押して、表示窓の"Power Off"表示が消えてから抜いてください。特に他機器のACアウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。 電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。	
タイマーが設定できない、作動しない。	● 現在時刻の設定がされていますか？現在時刻を設定してください。	46ページ
接続した外部機器から音が出ない。	● 本機の音声出力端子または接続した機器の音声入力端子に、音声ケーブルが正しく差し込まれていますか？または、外れていませんか？ ● オーディオコード(赤/白)のプラグや本機の音声出力端子、または接続した機器の音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 ● 接続した機器の音量が最小になっていませんか？	43ページ
リモコンが効かない。	● リモコンの電池がなくなっていませんか？新しい電池に換えてください。 ● 電池のプラスとマイナスの向きを間違えてリモコンに入れていませんか？正しく入れてください。 ● 蛍光灯がリモコン受光部の近くにありませんか？蛍光灯をリモコン受光部から離してください。 ● リモコンは、リモコン受光部から7 m以内、左右30° 以内で本機に向けて操作してください。 ● リモコンとリモコン受光部の間に信号をさえぎる障害物がありませんか？障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。	5、14ページ
テレビなどが誤動作する。	● ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	

症状	原因/対策	参照ページ
電源が入らない、または電源が突然オフになった。（緑色のTIMER インジケーターが点滅して、再び電源を入れたときにエラーメッセージが表示される場合があります。）	● 電源コードを抜かずに、1分後に再び⏻ STANDBY/ONボタンを押して電源を入れてみてください。 ● スピーカーコードがショート（接触）していませんか？スピーカーコードの芯線をしっかりとねじり、もう一度スピーカー端子に接続し直してください。 ● 本体の周りに十分なスペースが空いていますか？風通しが良くなるように設置を変えてみてください。 ● 音量を下げて使用してみてください。 上記を行っても症状が改善されないときは、最寄りの弊社サービスステーションに連絡してください。	6ページ 14ページ
SACD/CD		
SACD とCD で音量差を感じる。	● ディスクの記録方式の違いにより、音量に差があります。	
ディスクトレイを閉めても出てきたり、再生ができない。	● ディスクが極端に汚れていませんか?ディスクをクリーニングしてください。 ● ディスクはディスクトレイに正しくセットされていますか？ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクを表裏逆に入れていませんか?ディスクを正しくセットしてください。	65ページ 15ページ 15ページ
日本語のファイル名が表示されない。	● ディスクはJolietフォーマットで記録されていますか？詳しくは「再生できるディスクについて」をご覧ください。	18ページ
CD-R/RW ディスクが認識されない。	● ディスクはISO9660フォーマットに準拠していますか？詳しくは「再生できるディスクについて」をご覧ください。	18ページ
ラジオ		
FM/AM ラジオ放送が聞こえない、聞こえにくい。	● アンテナが接続されていますか？アンテナを正しく接続してください。 ● アンテナの向き、位置が悪くなっていませんか？アンテナの向きや位置を調整してください。 ● 電気器具（蛍光灯、ドライヤーなど）を使用していませんか？雑音を発生させる機器の使用をやめてください。	7ページ
FM 放送がステレオなのにステレオにならない。	● 表示部に「○」が点灯していませんか？ FM放送の受信設定を"Auto"にして、「○」を消灯してください。	20ページ
ホームメディアギャラリー		
ネットワークに接続できない。	● LANケーブルが抜けていませんか？正しく接続してください。 ● ルーターの電源は入っていますか？電源を入れてください。 ● IPアドレスは正しく設定されていますか？ルーターのDHCPサーバー機能をオンにするか、ネットワーク環境に合わせて、「Network Setup 」を手動で設定してください。 ● IPアドレスの自動設定中は接続できません。自動設定が終わるまでしばらくお待ちください。 ● 接続している機器にインターネットセキュリティーソフトウェアなどがインストールされていると、ネットワークに接続できないことがあります。	23ページ

症状	原因/対策	参照ページ
パソコンなどのネットワーク上の機器の音楽ファイルが再生できない。	● パソコンにWindows Media Player 11をインストールしてください。 ● MP3 、WAV（LPCM のみ）、MPEG-4 AAC、FLAC、WMA で記録された音楽ファイルを再生してください（ただし、それらのファイルであっても本機で再生できないこともあります）。 ● Windows Media Player 11 またはWindows Media Connect では、MPEG-4 AACやFLACファイルを再生することはできません。対応している他のサーバーを使用してください。 ● ネットワークに接続している機器は動作していますか？待機状態やスリープモードになっていないか確認してください。必要に応じて再起動してみてください。 ● ネットワークに接続している機器はファイルの共有を許可していますか？接続している機器の設定を変更してください。 ● ネットワークに接続している機器のフォルダーが、削除または破損していませんか？接続している機器に保存されているフォルダーを確認してください。	25ページ サーバーの取扱説明書を参照
接続しているネットワーク上の機器にアクセスできない。	● 接続している機器の設定は正しいですか？クライアントを自動で承認（許可）したときは、改めて入力する必要があります。接続の設定が「許可しない」になっていないか確認してください。 ● 接続している機器に再生できるファイルはありますか？接続している機器に保存されているファイルを確認してください。 ● 接続している機器の電源を、本機よりもあとにオンしていませんか？接続している機器の電源を本機よりも先にオンするか、一度本機の電源をスタンバイにして再びオンしてみてください。	
音声が途中で停止したり乱れたりする。	● 本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。 ● フォルダーが壊れていないか確認してください。 ● 本機で再生できる拡張子がついたファイルでも再生できないことや表示されないことがあります。 ● 同一ネットワーク上の他の機器でインターネット通信が行われているなど、ネットワークの通信が混雑している場合は、正しく再生できないことがあります。	35ページ
Windows Media Player 11 に接続できない。	● OS にWindows XP を使用しているパソコンで、ドメインにログオンしていませんか？ドメインではなく、ローカルマシンにログオンしてください。	25ページ
インターネットラジオが再生できない。	● ネットワーク機器のファイアウォールが働いていませんか？インターネットラジオは放送局によってポート番号が異なりますので、ネットワーク機器のファイアウォールの設定を確認してください。 ● インターネットの接続が切断されていませんか？ネットワーク機器の設定が正しいことを確認し、必要に応じてネットワーク接続業者にお問い合わせください。 ● 放送局リストで選択できる放送局でも、放送を中断または中止していて再生できないことがあります。	 23ページ 56ページ
USBメモリーのフォルダーや音楽ファイルが表示されない。	● フォルダーや音楽ファイルがFAT 領域以外に保存されていませんか？フォルダーや音楽ファイルをFAT 領域に保存してください。 ● フォルダー内の階層を8階層以内にしてください。 ● 1つのフォルダー内が2000 以内のフォルダー /ファイルになるよう保存してください。 ● 著作権保護がかけられているUSBメモリーの音楽ファイルには対応していません。	 32ページ 32ページ 32ページ

症状	原因/対策	参照ページ
USBメモリーを認識できない。	● USBメモリーは、USBマスストレージクラスに属していますか？ USBマスストレージクラスに属するUSBメモリーをお使いください（ただし、USBマスストレージクラスに属するUSBメモリーであっても、本機で再生できないものもあります）。	24ページ
	● 本機はUSBハブには対応していません。	24ページ
	● 本機がUSBメモリーを不正な機器と認識していることがあります。一度本機の電源をスタンバイにしてから、再びオンにしてください。	24ページ
USBメモリーを接続していて画面には表示されるが再生できない。	● USBメモリーのフォーマットが、FAT16またはFAT32であるか確認してください。FAT12、NTFS、HFSは本機で再生することができません。	24ページ
	● ファイルにDRMコピープロテクト（著作権保護）がかかっていませんか？ 著作権保護のかかったWMAやMPEG-4 AACのファイルは再生することができません。パソコンなどでCDなどの音楽データを取り込む場合、設定によっては著作権保護がかかることがあります。	
	● 本機で再生できるファイルフォーマットか確認してください。	35ページ
iPodを接続してもiPodのカテゴリーが表示されない。	● 本機は、第5世代以降のiPodやiPod nano、iPod classic、iPod touchに対応しています。これ以前のiPodや、iPod shuffle、iPhoneには対応しておりません。	24ページ
	● iPodのソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できないことがあります。最新のバージョンのソフトウェアでご使用ください。	24ページ
曲名やアーティスト名、アルバム名が表示されない。	● ネットワークオーディオ再生時は、ご使用しているサーバーの対応に依存しますので、詳しくはサーバーの取扱説明書をご確認ください。また、USBメモリー再生時は、ID3タグのバージョン2.xまたはWMAのメタタグのみに対応しています。ID3タグのバージョン1.xには対応していません。	
Bluetooth		
Bluetooth 機能搭載機器と接続できない、操作できない、音が出ない、音がとぎれる。	● 2.4 GHz帯の電磁波を発する機器（電子レンジ、無線LAN機器、他の *Bluetooth* 機能搭載機器など）が近くにありませんか？これらの機器から本機を離して設置するか、電磁波を発する他の機器の使用をおやめください。	
	● *Bluetooth*機能搭載機器と本機が離れすぎていたり、間に障害物がありませんか？同じ部屋で障害物のない、見通し距離10 m以内に設置してください。	
	● BLUETOOTHアダプターは本機のADAPTER PORT端子に正しく接続されていますか？接続を確認してください。	40ページ
	● *Bluetooth* 機能搭載機器が *Bluetooth* 無線通信できる状態になっていますか？ *Bluetooth*機能搭載機器の設定を確認してください。	
	● ペアリングが正しく行なわれていなかったり、本機か*Bluetooth*機能搭載機器側のいずれかでペアリングの設定を消去しませんでしたか？再度ペアリングの操作を行ってください。	
	● 接続したい機器はプロファイルに対応していますか？ A2DPおよびAVRCPに対応した*Bluetooth*機能搭載機器を使用してください。	

● 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて差し込み直すことにより正常に動作します。

こんな表示が出たときは

下の項目をチェックしても直らないとき、下記以外の表示が出たときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

表示	意味／対処
Can't use during "SACD"	SACDを再生中に、**SOUND**ボタンまたは**S.RETRIVER**ボタンが押されました。 SACDを再生中は、サウンドモードとサウンドレトリバー機能を切り換えることはできません。
Can't use during "This Function"	**BT AUDIO**、**LINE 1**または**2**、**PHONO**、**TUNER**以外の入力（ファンクション）のときに、**DIGITAL NR**ボタンが押されました。これらの入力（ファンクション）では、デジタルノイズリダクション機能は使用できません。
Can't use during "Hi-Sampling"	ハイサンプリングモードがオンのときに、**SOUND**ボタンまたは**S.RETRIVER**ボタンが押されました。ハイサンプリングモードがオンのときは、サウンドモードとサウンドレトリバー機能を切り換えることはできません。
Can't use during "Wake-up"	目覚ましタイマー (Wake-upタイマー)動作中に、**SLEEP**ボタンが押されました。目覚ましタイマー (Wake-upタイマー)動作中は、スリープタイマーは使用できません。
Can't use during "Tray Lock"	ディスクトレイがロックされています。本体の**⏏OPEN/CLOSE**ボタンを８秒以上押してください。"**Tray Lock Off**"と表示され、ロックが解除されます。
Connection Down	ホームメディアギャラリーで選んだカテゴリーや放送局にアクセスできません。 その場合は、**RETURN**ボタンを押してください。
EEPROM Error	故障の可能性があります。お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。
empty	選んだフォルダーに何もファイルが入っていません。
File Format Error	何らかの原因で音楽ファイルやインターネットラジオの放送局を再生できません。 その場合は、**RETURN**ボタンを押してください。
License Error	選択した曲の再生が許可されていません。
Network Problem	ネットワークの設定に問題があります。設定を確認してください。 本機の設定を変更したときに表示されることもあります。その場合はしばらくお待ちください。
Out Of Range	ネットワークの設定で入力した値が、設定できる値ではありません。
Preset Not Stored	インターネットラジオの放送局が登録されていないステーションを選択しました。
Please Wait	パソコンなどのネットワーク上の機器にアクセス中です。しばらくお待ちください。
Server Disconnected	サーバーの接続が切断されました。
Server Error	選んだサーバーにアクセスできません。 その場合は、**RETURN**ボタンを押してください。
Track Not Found	選択した曲がネットワーク上で見つかりません。 その場合は、**RETURN**ボタンを押してください。
USB Error	USBメモリーの消費電力が大きすぎて電力が供給できません。ACアダプターが付属されているUSBメモリーをお使いの場合は、ACアダプターを接続して使用してみてください。 エラーが出たあとは、本機の電源を入れ直してください。
ADAPTER PORT Err	BLUETOOTHアダプターが正しく挿入されていない可能性があります。本機の電源を切ってから、接続をやり直してください。

保証とアフターサービス

保証書（別添）について

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後、8年間です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、修理受付センターにご相談ください。
所在地、電話番号は裏表紙の「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」をご覧ください。

修理を依頼されるとき

52～56ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 : Super Audio CD Receiver
  （スーパーオーディオCDレシーバー）
- 型番 : PDX-Z10
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など付近の目印）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ お願い：

修理のために本機をお持ち込みいただく際は、部分的な故障と思われる場合でもシステム全体での動作確認が必要となるため、全機器をお持ち込み願います。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（たとえば、飲食店等での営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。	➡	ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX	011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX	0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX	0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX	0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX	022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX	023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX	024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX	019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX	017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX	0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX	018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX	03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX	03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX	042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東関東サービスセンター	FAX	043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX	047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX	0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX	049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX	025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX	045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX	046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX	0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX	054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX	055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX	076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1 F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30〜12:00、13:00〜18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1 F

●沖縄県

受付　月〜金　9:30〜18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2113	浦添市大平2-2-6　ひろえハイツ102
	FAX	098-879-1352		

平成21年2月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

仕様

■ アンプ部

実用最大出力 ....50 W+ 50 W
（JEITA　1 kHz、10 %、4 Ω）

■ チューナー部

FM チューナー部
受信周波数................................76.0 MHz ～ 90.0 MHz,
TV（アナログ）1 ch ～ 3 ch 音声
アンテナ...75 Ω 不平衡型
AM チューナー部
受信周波数...................................522 kHz ～ 1629 kHz
アンテナ ....ループアンテナ (付属)

■ LAN 端子

1 系統、10BASE-T/100BASE-TX

■ その他の入出力端子

電源供給部
iPod/USB 端子 ....5 V, 500 mA
ADAPTER PORT 端子..................................5 V, 500 mA

■ 電源部

電源電圧 ....AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力..43 W
スタンバイ消費電力...0.4 W

■ その他

外形寸法..........................386 mm X 93 mm X 350 mm
（幅）X（高さ）X（奥行）
質量...5.5 kg

■ 付属品

リモコン 1
AA/R6 単 3 形乾電池（動作確認用）.................................. 2
電源コード 1
AM ループアンテナ 1
FM 簡易アンテナ 1
クリーニングクロス... 1
保証書.. 1
取扱説明書 (本書)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたり、ヘッドホンで聞くのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



ライセンスについて

FLAC

FLAC Decoder
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

安全上のご注意

●安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
●ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⃠ 記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置





- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災·感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



- 電源プラグの刃および刃の付近にホコリや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。



- 電源コードの上に重い物をのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。



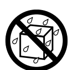
- 放熱をよくするため、他の機器や壁等から間隔をとり、ラックに入れる場合はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

→あおむけや横倒し、逆さまにする。
→押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→じゅうたんやふとんの上に置く。
→テーブルクロスなどをかける。



- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：**
  付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（交流100ボルト50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



- この機器を使用できるのは日本国内のみです。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法



- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。



- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。



- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置



- 電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ホコリが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはホコリの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



- 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。



- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは2人以上で行ってください。



- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法



- ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



- レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



- お子様がディスク挿入口に手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。



- ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示 (プラス(＋)マイナス(ー)の向き)に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。



- 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検



- 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にホコリがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

注 意

この製品はJIS C 6802規格の基で評価されたクラス1レーザ製品ですが、内部にはクラス1のレベルを超える危険なレーザ放射があります。
分解や改造などは絶対に行わないでください。

クラス1
レーザ製品

危険なレーザ放射に接する恐れのある部分には、以下の注意文表示があります。

注意　ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。
ARW7316–A

D3-7-12-5-5_Ja

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機を他のアンプなど熱を発生する機器の上に設置しないでください。ラックの中に設置する場合は、他のアンプやオーディオ機器から発生する熱を避けるため、これらの機器よりもできるだけ下の棚に設置してください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

製品のお手入れについて

- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 通常は付属のクリーニングクロスでお手入れしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。

結露について

- 冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1～2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

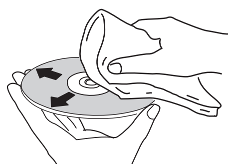
ディスクの取り扱いかた

保管

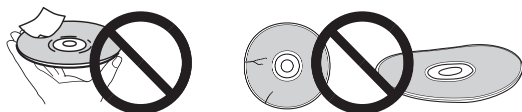
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付属の注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生できなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

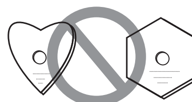


- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れをつけないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びなどが発生することがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」(57ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

用語解説

全般

■ペアリング
あらかじめ*Bluetooth*無線技術でワイヤレス接続する機器同士を登録しておくことです。

■マルチセッション
CD-R やCD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

■A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
*Bluetooth*無線技術においてオーディオを伝送するためのプロファイルです。

■AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)
*Bluetooth*無線技術においてAV 機器をリモートコントロールするためのプロファイルです。

■DRM コピープロテクト
DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、無許可の複製を防止するため録音時に使用したPCなどの機器以外での再生を制限するなどの機能です。
詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

■Dual Disc
Dual Discは、片面にDVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

■LPCM
Linear Pulse Code Modulationの略で、圧縮していない2チャンネルステレオデジタル音声です。
CD のデジタル音声はほとんどがこの方式です。

■MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー 3という圧縮方法で圧縮した音楽データです。「.mp3」または「.MP3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドとアルファベットで構成されています。

■SACD
CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの3種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ち合わせています。

ホームメディアギャラリー

■イーサネット（Ethernet）
同じ場所にある複数のパソコンなどを接続してローカルエリアネットワーク(LAN)を構築するときに使われる規格です。現在は、100BASE-TXと呼ばれる方式が最も普及しています（10BASE-Tと呼ばれる方式もあります)。通常はLANケーブルとハブを使って複数のパソコンを接続します。

■サブネットマスク
IPアドレスの何ビット分をネットワークグループの識別のために使うかを定義する32ビットの数値です。
「255.255.255.0 」のように表示されます。

■デフォルトゲートウェイ
ネットワーク外（インターネットなど）の機器にアクセスするとき「出入り口」になるルータなどの機器です。

■AAC
Advanced Audio Codingの略で、MPEG-2およびMPEG-4で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。AACデータは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

■aacPlus
AACデコーダーは、Coding Technologiesによって開発されたaacPlusを使用しています。



（www.codingtechnologies.com）

■DHCP
Dynamic Host Configuration Protocolの略です。
ネットワークに関する設定（IPアドレスの取得など）を自動で行う機能です。

■DLNA
Digital Living Network Alliance (デジタル·リビング·ネットワーク・アライアンス)の略です。ローカルエリアネットワーク(LAN)上で接続したメーカーの異なるパソコンやデジタル家電の動画、音楽、または画像データなどを相互で視聴できるようにするためのデータの圧縮方式や転送方式の標準化を進めている団体の名称です。本機はDLNA Home Networked Device Interoperability Guidelines v1.0 に準じています。

■DNS
「ドメインネームシステム」の略で、ホームページの閲覧時に使用する「www.jp 」のようなドメイン名を、実際の通信に使用するIP アドレス(「202.221.192.106」など)に置き換える仕組みのことです。

■FLAC
Free Lossless Audio Codecの略です。可逆圧縮方式であるため、MP3やAACなどの圧縮音声とは違いFLACは音質を劣化させせることなく圧縮します。詳しくは下記のウェブサイトをご覧ください。

FLAC ウェブサイト: http://flac.sourceforge.net

■IP アドレス
インターネットなどのIP(インターネットプロトコル)ネットワークに接続されたパソコンに割り振られた識別番号です。通常は「192.168.130.106」のように、0から255 までの数字を4 つ並べて表示します。

■LAN
Local Area Networkの略です。同じ建物の中にあるパソコンやプリンタなどを専用ケーブルで接続してデータを送受信するネットワークです。最も普及している規格はイーサネット(Ethernet)規格で、通信速度が10 Mbps、最大伝送距離が100 mの10BASE-Tや、その10倍の通信速度を実現できる100BASE-TXが主流です。

■MAC アドレス
イーサネットカードに付与される固有のI D 番号です。
これを元にカード間でデータが送受信されます。
IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers=電気電子学会)が割り当てる番号と各メーカーが独自に割り当てる番号の組み合わせによって表示されます。

■Windows Media
Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

■Windows Media DRM
Windows Mediaデジタル著作権管理(DRM)は、パソコン、デジタルオーディオプレーヤー、またはネットワーク機器などで再生するファイルを保護して、安全に配信できる技術です。WMDRMで保護されているファイルはWMDRM に対応している機器でのみ再生できます。

■Windows Media Player 11
Windows Media Connect
Windows Media Player 11とWindows Media Connect は、パソコンに保存されている動画、音楽、または画像ファイルなどをネットワーク上で共有するソフトウェアです。現在Windows Media Connect はマイクロソフト社のウェブサイトでダウンロードできません。Windows Media Connect がお使いの機器にインストールされていないときは、同じ機能が使えるWindows Media Player 11 for Windows XP をインストールしてください(マイクロソフトウェブサイトからダウンロードできます)。詳しくは、マイクロソフトウェブサイトをご覧ください。

■vTuner
インターネットラジオのオンラインコンテンツサービスです。vTunerについて、詳しくは以下のウェブサイトをご覧ください。
http://www.radio-pioneer.com

本製品は、NEMS および BridgeCo の知的財産権により保護されています。当該技術の本製品以外での使用または配布は、NEMS および BridgeCo の許諾がない限り禁止されています。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■ 0120−944−222　■一般電話　03−5496−2986

■ファックス　03−3490−5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81028（ゴーハパイオニア）　■一般電話　03−5496−2023

■ファックス　0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−879−1910

■ファックス　098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　0120−5−81095　■一般電話　0538−43−1161

■ファックス　0120−5−81096

平成21年2月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.030

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号